



show コマンド

この章では、Cisco NX-OS システム管理用の各種 **show** コマンドについて説明します。

show checkpoint

チェックポイント ファイルの内容を表示するには、**show checkpoint** コマンドを使用します。

```
show checkpoint [name]
```

シンタックスの説明	<i>name</i>	(任意) チェックポイント ファイルの名前。63 文字以内の英数字のストリングを指定します。
デフォルト		なし
コマンド モード		コンフィギュレーション モード
サポートされるユーザ ロール		ネットワーク管理者 VDC 管理者
コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが導入されました。
使用上のガイドライン		このコマンドにライセンスは不要です。

例

次に、チェックポイント ファイルの内容を表示する例を示します。

```
switch# show checkpoint stable
-----
Name: stable
version 4.0(2)
power redundancy-mode combined force
license grace-period
feature vrrp
feature tacacs+
feature ospf
feature pim
feature pim6
feature msdp
feature eigrp
feature rip
feature isis
feature pbr
feature private-vlan
feature port-security
feature interface-vlan
feature dot1x
feature hsrp
feature lacp
feature glbp
feature dhcp
feature cts
logging level port-security 5
logging level glbp 6
snmp-server context foo
snmp-server community <removed> group vdc-operator
snmp-server community <removed> group network-admin
snmp-server community <removed> group vdc-admin
role feature-group name X
role feature-group name x
role name x
  vlan policy deny
  vrf policy deny
    permit vrf x
    permit vrf X
role name X
username adminbackup password 5 $1$0ip/C5Ci$oOdx7oJSlBCFpNRmQK4na. role vdc-ope
rator
username adminbackup role network-operator
username admin password 5 $1$8GYeC4uW$4WfnImcvtAKI6Uet.ePD.1 role network-admin
```

関連コマンド

コマンド	説明
clear checkpoint database	すべてのチェックポイント ファイルを消去します。

show configuration session

コンフィギュレーションセッションに関する情報を表示するには、**show configuration session** コマンドを使用します。

```
show configuration session [name] [status] [summary]
```

シンタックスの説明

name	(任意) コンフィギュレーションセッション名。63 文字以内の英数字のストリング (大文字と小文字を区別) を指定します。
status	(任意) コンフィギュレーションセッションのステータスを表示します。
summary	(任意) アクティブなコンフィギュレーションセッションのサマリーを表示します。

デフォルト

すべてのセッションの情報を表示します。

コマンドモード

Any モード

サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者
VDC 管理者

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

このコマンドにライセンスは不要です。

例

次に、コンフィギュレーションセッションに関する情報を表示する例を示します。各行は、セッションをコミットしたとき、Cisco NX-OS によってデバイスに適用される CLI コマンドを表します。

```
switch# show configuration session myACLS
config session name myACLS
0001 ip access-list test1
0002 permit tcp any any
0003 statistics
```

次に、コンフィギュレーションセッションのステータスを表示する例を示します。

```
switch(config-s)# show configuration session status
Session Name       : myACLS
Last Action        : None
Last Action Status : Success
Last Action Reason : -NA-
Last Action Timestamp : 00:00:00 UTC Jan 01 1970
```

次に、コンフィギュレーションセッションのサマリーを表示する例を示します。

```
switch(config-s)# show configuration session summary
Name                               Session Owner           Creation Time
-----
myACLS                             admin                   21:34:39 UTC Apr 27 2008
status                             admin                   00:53:23 UTC Apr 29 2008
a                                   admin                   01:47:30 UTC Apr 28 2008
myACLS                             admin                   00:56:46 UTC Apr 29 2008
Number of active configuration sessions = 4
switch(config-s)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
show tech-support session-mgr	トラブルシューティング用のコンフィギュレーションセッションの詳細な情報を表示します。

show diagnostic bootup level

起動時の診断に関する情報を表示するには、**show diagnostic bootup level** コマンドを使用します。

show diagnostic bootup level

シンタックスの説明 このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト なし

コマンドモード Any モード

サポートされるユーザロール ネットワーク管理者
VDC 管理者

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン このコマンドにライセンスは不要です。

例 次に、起動時の診断レベルに関する情報を表示する例を示します。

```
switch# show diagnostic bootup level
Current bootup diagnostic level: complete
switch#
```

関連コマンド	コマンド	説明
	diagnostic bootup level	ブートアップ診断レベルを設定します。

show diagnostic content

モジュールの診断テストの内容に関する情報を表示するには、**show diagnostic content** コマンドを使用します。

```
show diagnostic content {number | all}
```

シンタックスの説明	number	診断内容モジュール番号。範囲は 1 ~ 10 です。
	all	すべてのモジュールのすべてのテストの内容を表示します。

デフォルト なし

コマンドモード Any モード

サポートされるユーザロール ネットワーク管理者
VDC 管理者

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン モジュールに設定されたテストおよび繰り返し間隔時間に関する情報を表示するには、**show diagnostic content** コマンドを使用します。

例

次に、モジュールの診断テスト内容に関する情報を表示する例を示します。

```
switch# show diagnostic content module 6
Module 6: Supervisor module-1X (Active)
Diagnostics test suite attributes:
B/C/* - Bypass bootup level test / Complete bootup level test / NA
P/*   - Per port test / NA
S/*   - Only applicable to standby unit / NA
D/N/* - Disruptive test / Non-disruptive test / NA
H/*   - Always enabled monitoring test / NA
F/*   - Fixed monitoring interval test / NA
X/*   - Not a health monitoring test / NA
E/*   - Sup to line card test / NA
L/*   - Exclusively run this test / NA
T/*   - Not an ondemand test / NA
A/I/* - Monitoring is active / Monitoring is inactive / NA
```

ID	Name	Attributes	Testing Interval (hh:mm:ss)
1)	ManagementPortLoopback----->	C**D**X**T*	-NA-
2)	EOBCPortLoopback----->	C**D**X**T*	-NA-
3)	ASICRegisterCheck----->	***N*****A	00:00:20
4)	USB----->	C**N**X**T*	-NA-
5)	CryptoDevice----->	C**N**X**T*	-NA-
6)	NVRAM----->	***N*****A	00:00:30
7)	RealTimeClock----->	***N*****A	00:05:00
8)	PrimaryBootROM----->	***N*****A	00:30:00
9)	SecondaryBootROM----->	***N*****A	00:30:00
10)	CompactFlash----->	***N*****A	00:30:00
11)	ExternalCompactFlash----->	***N*****A	00:30:00
12)	PwrMgmtBus----->	***N*****A	00:00:30
13)	SpineControlBus----->	***N*****A	00:00:30
14)	SystemMgmtBus----->	***N*****A	00:00:30

switch

show diagnostic description module

モジュールの診断テストに関する情報を表示するには、**show diagnostic description module** コマンドを使用します。

```
show diagnostic description module slot test {test-ID | test-name | all}
```

シンタックスの説明	slot	診断説明スロット番号。スロットの範囲は 1 ~ 10 です。
	test-ID	(任意) テスト ID。範囲は 1 ~ 14 です。
	test-name	(任意) テスト名。32 文字以内の英数字のストリング (大文字と小文字を区別) を指定します。
	all	(任意) すべてのモジュールのすべてのテストの説明を表示します。
	test	(任意) 選択した診断テストを表示します。

デフォルト なし

コマンド モード Any モード

サポートされるユーザロール ネットワーク管理者
VDC 管理者

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン このコマンドにライセンスは不要です。

例 次に、モジュールの診断説明を表示する例を示します。

```
switch# show diagnostic description module 6 test 1
ManagementPortLoopback :
    A bootup test that tests loopback on the management port of
    the module
```

関連コマンド	コマンド	説明
	show diagnostic content	診断テスト名とテスト ID を表示します。

show diagnostic ondemand setting

モジュールのオンデマンド診断テストに関する情報を表示するには、**show diagnostic ondemand setting** コマンドを使用します。

show diagnostic ondemand setting

シンタックスの説明	setting	オンデマンド診断テストを設定します。
デフォルト	なし	
コマンド モード	Any モード	
サポートされるユーザロール	ネットワーク管理者	
コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが導入されました。
使用上のガイドライン	このコマンドにライセンスは不要です。	
例	次に、オンデマンド診断情報を表示する例を示します。	
	<pre>switch# show diagnostic ondemand setting Test iterations = 1 Action on test failure = continue until test failure limit reaches 1</pre>	
関連コマンド	コマンド	説明
	diagnostic ondemand setting	オンデマンド診断テストを設定します。

show diagnostic result

モジュールの診断テスト結果を表示するには、**show diagnostic result** コマンドを使用します。

show diagnostic result module {*slot* [*test* [*test-id* | *test-name*]] | **all**} [**detail**]

シンタックスの説明	slot	診断結果のスロット番号。モジュールスロットの範囲は 1 ～ 10 です。
	test	(任意) 選択した診断テストを表示します。
	<i>test-ID</i>	(任意) テスト ID。範囲は 1 ～ 14 です。
	<i>test-name</i>	(任意) テスト名。32 文字以内の英数字のストリング (大文字と小文字を区別) を指定します。
	all	(任意) すべてのモジュールのすべてのテストの結果を表示します。
	detail	(任意) 詳細な結果を表示します。

デフォルト なし

コマンドモード Any モード

サポートされるユーザロール ネットワーク管理者

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン このコマンドにライセンスは不要です。

例 次に、診断テスト結果を表示する例を示します。

```
switch# show diagnostic result module 6 test 6 detail

Current bootup diagnostic level: complete
Module 6: Supervisor module-1X (Active)
Diagnostic level at card bootup: complete
Test results: (. = Pass, F = Fail, I = Incomplete,
              U = Untested, A = Abort, E = Error disabled)

-----
6) NVRAM-----> .
Error code -----> DIAG TEST SUCCESS
Total run count -----> 1574
Last test execution time ----> Thu Jun 26 09:28:40 2008
First test failure time -----> n/a
Last test failure time -----> n/a
Last test pass time -----> Thu Jun 26 09:28:41 2008
Total failure count -----> 0
Consecutive failure count ----> 0
Last failure reason -----> No failures yet

switch#
```

show diagnostic simulation

モジュールのシミュレート診断に関する情報を表示するには、**show diagnostic simulation** コマンドを使用します。

show diagnostic simulation module slot

シンタックスの説明	<i>slot</i>	診断シミュレーションのスロット番号。モジュールスロットの範囲は 1 ~ 10 です。
デフォルト	なし	
コマンド モード	Any モード	
サポートされるユーザロール	ネットワーク管理者	
コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが導入されました。
使用上のガイドライン	このコマンドにライセンスは不要です。	
例	次に、シミュレート診断に関する情報を表示する例を示します。	
	<pre>switch# show diagnostic simulation module 6 Card(6): Supervisor module-1X ----- -NA- switch#</pre>	
関連コマンド	コマンド	説明
	diagnostic test simulation	診断テストのシミュレートされたテスト結果を設定します。

show diagnostic status

すべてのテストのテスト ステータスを表示するには、**show diagnostic status** コマンドを使用します。

show diagnostic status module slot

シンタックスの説明	<i>slot</i>	診断ステータス スロット番号。モジュール スロットの範囲は 1 ~ 10 です。
------------------	-------------	--

デフォルト	なし
--------------	----

コマンド モード	Any モード
-----------------	---------

サポートされるユーザロール	ネットワーク管理者
----------------------	-----------

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン	このコマンドにライセンスは不要です。
-------------------	--------------------

例	次に、モジュールのすべてのテストのステータスに関する情報を表示する例を示します。
----------	--

```
switch# show diagnostic status module 6
          <BU>-Bootup Diagnostics, <HM>-Health Monitoring Diagnostics
          <OD>-OnDemand Diagnostics, <SCH>-Scheduled Diagnostics
=====
Card:(6) Supervisor module-1X
=====
Current running test           Run by
      -NA-                     -NA-
Currently Enqueued Test       Run by
      -NA-                     -NA-
switch#
```

show diff rollback-patch

送信元と宛先の違いを表示するには、**show diff rollback-patch** コマンドを使用します。

```
show diff rollback-patch {checkpoint name | running-config | startup-config} {checkpoint name |
running-config | startup-config}
```

シンタックスの説明	パラメータ	説明
checkpoint		送信元設定としてチェックポイント名を使用します。
<i>name</i>		チェックポイント ファイルの名前。63 文字以内の英数字のストリングを指定します。
running-config		宛先として実行コンフィギュレーションを使用します。
startup-config		宛先としてスタートアップ コンフィギュレーションを使用します。

デフォルト なし

コマンド モード Any

サポートされるユーザ ロール ネットワーク管理者
VDC 管理者

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン このコマンドにライセンスは不要です。

例 次に、安定したチェックポイント ファイルと実行コンフィギュレーションの違いを表示する例を示します。

```
switch# show diff rollback-patch checkpoint stable running-config
switch#
```

関連コマンド	コマンド	説明
	show checkpoint	チェックポイント ファイルの内容を表示します。
	rollback running checkpoint	設定したチェックポイントファイルのロールバックを実装します。

show environment

ハードウェア環境ステータスに関する情報を表示するには、**show environment** コマンドを使用します。

show environment [clock | fan | power | temperature]

シンタックスの説明

clock	(任意) クロックに関する情報を表示します。
fan	(任意) ファンに関する情報を表示します。
power	(任意) 電源に関する情報を表示します。
temperature	(任意) 温度に関する情報を表示します。

デフォルト

なし

コマンドモード

任意のコマンドモード

サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者
VDC 管理者
ネットワーク オペレータ
VDC オペレータ

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

このコマンドは、デバイス搭載ハードウェアのステータス情報を表示します。
このコマンドにライセンスは不要です。

例

次に、ハードウェア環境に関する情報を表示する例を示します。

```
switch# show environment
```

```
Clock:
```

```
-----
Clock          Model          Hw          Status
-----
A              Clock Module   --         NotSupported/None
B              Clock Module   --         NotSupported/None
```

```
Fan:
```

```
-----
Fan           Model          Hw          Status
-----
Fan1(sys_fan1)          0.0        Ok
Fan2(sys_fan2)          0.0        Ok
Fan3(fab_fan1)         0.0        Ok
Fan4(fab_fan2)         0.0        Ok
Fan_in_PS1           --          --          Ok
Fan_in_PS2           --          --          Ok
Fan_in_PS3           --          --          Absent
Fan Air Filter : Absent
```

```
Temperature:
```

```
-----
Module  Sensor          MajorThresh  MinorThres  CurTemp  Status
        (Celsius)   (Celsius)   (Celsius)
-----
2       Crossbar(s5)    105          95          40       Ok
2       CTSdev1 (s6)   115          105         47       Ok
2       CTSdev2 (s7)  115          105         51       Ok
2       CTSdev3 (s8)  115          105         47       Ok
2       CTSdev4 (s9)  115          105         48       Ok
2       CTSdev5 (s10) 115          105         47       Ok
2       CTSdev7 (s12) 115          105         50       Ok
2       CTSdev8 (s13) 115          105         50       Ok
2       CTSdev9 (s14) 115          105         48       Ok
2       CTSdev10(s15) 115          105         48       Ok
2       CTSdev11(s16) 115          105         46       Ok
2       CTSdev12(s17) 115          105         45       Ok
2       QEng1Sn1(s18) 115          105         43       Ok
2       QEng1Sn2(s19) 115          105         42       Ok
2       QEng1Sn3(s20) 115          105         39       Ok
2       QEng1Sn4(s21) 115          105         40       Ok
2       L2Lookup(s22) 115          105         43       Ok
2       L3Lookup(s23) 120          110         54       Ok
```

```
Power Supply:
```

```
Voltage: 50 Volts
```

```
-----
PS  Model          Power      Power      Status
        (Watts)    (Amp)
-----
1   N7K-AC-6.0KW    0.00      0.00      Ok
2   N7K-AC-6.0KW    6000.00   120.00    Ok
3   -----         0.00      0.00      Absent
```

```
-----
Mod Model          Power      Power      Power      Power      Status
        Requested Requested  Allocated  Allocated
        (Watts)   (Amp)     (Watts)    (Amp)
-----
2   N7K-M148GT-11   247.00    4.94      247.00    4.94      Powered-Up
6   N7K-SUP1         210.00    4.20      210.00    4.20      Powered-Up
```

```
Xb1 N7K-C7010-FAB-1 123.50 2.47 123.50 2.47 Powered-Up
```

```
Power Usage Summary:
```

```
-----
```

```
Power Supply redundancy mode: Non-Redundant (combined)
Power Supply redundancy operational mode: Non-Redundant (combined)
```

```
Total Power Capacity 6000.00 W
```

```
Power reserved for Supervisor(s) 420.00 W
```

```
Power reserved for Fan Module(s) 2184.00 W
```

```
Power reserved for Fabric Module(s) 300.00 W
```

```
Power currently used by Modules 247.00 W
```

```
-----
Total Power Available 2849.00 W
-----
```

次に、電源に関する情報を表示する例を示します。

```
switch# show environment power
```

```
Power Supply:
Voltage: 50 Volts
```

```
-----
PS Model Power Power Status
(Watts) (Amp)
-----
1 FIORANO 0.00 0.00 Ok
2 FIORANO 6000.00 120.00 Ok
3 ----- 0.00 0.00 Absent
```

```
Mod Model Power Power Power Power Status
Requested Requested Allocated Allocated
(Watts) (Amp) (Watts) (Amp)
-----
2 NURBURGRING 247.00 4.94 247.00 4.94 Powered-Up
6 CATALUNYA 210.00 4.20 210.00 4.20 Powered-Up
Xb1 Estoril 123.50 2.47 123.50 2.47 Powered-Up
```

```
Power Usage Summary:
```

```
-----
```

```
Power Supply redundancy mode: Non-Redundant (combined)
Power Supply redundancy operational mode: Non-Redundant (combined)
```

```
Total Power Capacity 6000.00 W
```

```
Power reserved for Supervisor(s) 420.00 W
```

```
Power reserved for Fan Module(s) 2184.00 W
```

```
Power reserved for Fabric Module(s) 300.00 W
```

```
Power currently used by Modules 247.00 W
```

```
-----
Total Power Available 2849.00 W
-----
```

関連コマンド

コマンド	説明
<code>power redundancy-mode</code>	電源冗長モードを設定します。

show event manager environment

Embedded Event Manager (EEM; 組み込み型イベント マネージャ) 環境変数の名前と値を表示するには、**show event manager environment** コマンドを使用します。

```
show event manager environment {varname | all}
```

シンタックスの説明	{varname all} 指定した環境変数またはすべての環境変数に関する情報を表示します。
-----------	--

デフォルト	なし
-------	----

コマンド モード	Any
----------	-----

サポートされるユーザロール	スーパーユーザ VDC 管理者 VDC ユーザ
---------------	-------------------------------

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン	このコマンドにライセンスは不要です。
------------	--------------------

例	次に、すべての EEM 環境変数を表示する例を示します。
---	------------------------------

```
switch# show event manager environment all  
switch#
```

show event manager event-types

Embedded Event Manager (EEM; 組み込み型イベント マネージャ) のイベント タイプを表示するには、**show event manager event-types** コマンドを使用します。

show event manager event-types [detail | *event-type-name*] [module *module*]

シンタックスの説明	
detail	(任意) すべてのイベント タイプの詳細を表示します。
<i>event-type-name</i>	(任意) 指定された <i>event-type-name</i> を表示します。
module <i>module</i>	(任意) 特定の <i>module</i> 用に定義されたイベントを表示します。モジュール 1 ~ 10 のいずれかを選択します。

デフォルト なし

コマンド モード Any

サポートされるユーザロール スーパーユーザ
VDC 管理者
VDC ユーザ

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン このコマンドにライセンスは不要です。

例 次に、EEM イベント タイプの詳細を表示する例を示します。

```
switch# show event manager event-types detail
switch#
```

show event manager history events

トリガーされた Embedded Event Manager (EEM; 組み込み型イベント マネージャ) のイベントを表示するには、**show event manager history events** コマンドを使用します。

show event manager history events [detail] [maximum number] [severity severity]

シンタックスの説明	detail	(任意) すべてのイベント タイプの詳細を表示します。
	maximum number	(任意) 表示する履歴イベントの最大番号 (number) を指定します。
	severity severity	(任意) 指定された重大度 (severity) のイベントのみ表示します。

デフォルト なし

コマンド モード Any

サポートされるユーザ ロール スーパーユーザ
VDC 管理者
VDC ユーザ

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン このコマンドにライセンスは不要です。

例 次に、トリガーされた EEM 履歴イベントのうち、重大度が 7 のものを表示する例を示します。

```
switch# show event manager history events severity 7
switch#
```

show event manager policy

登録済みの Embedded Event Manager (EEM; 組み込み型イベント マネージャ) ポリシーを表示するには、**show event manager policy** コマンドを使用します。

show event manager policy [detail] [policy-name | inactive]

シンタックスの説明	オプション	説明
	detail	(任意) すべてのポリシーの詳細を表示します。
	<i>policy-name</i>	(任意) 表示するポリシー名 (<i>policy-name</i>) を指定します。
	inactive	(任意) 非アクティブなポリシーのみ表示します。

デフォルト なし

コマンドモード Any

サポートされるユーザロール スーパーユーザ
VDC 管理者
VDC ユーザ

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン このコマンドにライセンスは不要です。

例 次に、EEM ポリシーを表示する例を示します。

```
switch# show event manager policy
switch#
```

show event manager policy-state

名前付き Embedded Event Manager (EEM; 組み込み型イベント マネージャ) ポリシーの状態を表示するには、**show event manager policy-state** コマンドを使用します。

```
show event manager policy-state name [module module]
```

シンタックスの説明	<i>name</i>	状態を表示するポリシーの名前 (<i>name</i>) を指定します。
	<i>module module</i>	(任意) 特定の <i>module</i> 用に定義されたポリシー状態を表示します。モジュール 1 ~ 10 のいずれかを選択します。

デフォルト なし

コマンドモード Any

サポートされるユーザロール
スーパーユーザ
VDC 管理者
VDC ユーザ

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン このコマンドにライセンスは不要です。

例 次に、EEM ポリシーの状態を表示する例を示します。

```
switch# show event manager policy-state policy42  
switch#
```

show event manager script

Embedded Event Manager (EEM; 組み込み型イベント マネージャ) のスクリプト ポリシーを表示するには、**show event manager script** コマンドを使用します。

```
show event manager script system {all | script-name}
```

シンタックスの説明	
<i>name</i>	状態を表示するポリシーの名前 (<i>name</i>) を指定します。
module <i>module</i>	(任意) 特定の <i>module</i> 用に定義されたポリシー状態を表示します。モジュール 1 ~ 10 のいずれかを選択します。

デフォルト	なし
-------	----

コマンドモード	Any
---------	-----

サポートされるユーザロール	スーパーユーザ VDC 管理者 VDC ユーザ
---------------	-------------------------------

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン	このコマンドにライセンスは不要です。
------------	--------------------

例	次に、EEM に定義されたすべてのシステム スクリプトを表示する例を示します。
---	---

```
switch# show event manager script system all
switch#
```

show event manager system-policy

Embedded Event Manager (EEM; 組み込み型イベント マネージャ) のシステム ポリシーを表示するには、**show event manager system-policy** コマンドを使用します。

```
show event manager system-policy [all]
```

シンタックスの説明	all	(任意) すべてのポリシー (高度なポリシーや上書き禁止のポリシーも含む) を表示します。
-----------	------------	---

デフォルト	なし
-------	----

コマンド モード	Any
----------	-----

サポートされるユーザ ロール	スーパーユーザ VDC 管理者 VDC ユーザ
----------------	-------------------------------

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン	このコマンドにライセンスは不要です。
------------	--------------------

例	次に、EEM システム ポリシーを表示する例を示します。
---	------------------------------

```
switch# show event manager system-policy  
switch#
```

関連コマンド

show flow exporter

Flexible NetFlow フロー エクスポートのステータスと統計情報を表示するには、**show flow exporter** コマンドを Any モードで使用します。

show flow exporter [*name exporter-name*]

シンタックスの説明	<i>name exporter-name</i>	(任意) フロー エクスポートの名前を指定します。64 文字以内の英数字のストリング (大文字と小文字を区別) を指定します。
------------------	---------------------------	---

コマンドのデフォルト設定	ルータに設定されているすべてのフロー エクスポートの情報が表示されます。
---------------------	--------------------------------------

コマンド モード	Any
-----------------	-----

サポートされるユーザ ロール	ネットワーク管理者 VDC 管理者
-----------------------	----------------------

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン	<p>show flow exporter コマンドを使用するには、事前に、エクスポートを使用して Flexible NetFlow によるトラフィック モニタリングをイネーブルにしておく必要があります。</p> <p>このコマンドにライセンスは不要です。</p>
-------------------	---

例 次に、ルータに設定されているすべてのフロー エクスポートのステータスと統計情報を表示する例を示します。

```
switch# show flow exporter
Flow Exporter NFC-DC-PHOENIX:
Export Version 5
Exporter Statistics
  Number of Flow Records Exported 0
  Number of Export Packets Sent 0
  Number of Export Bytes Sent 0
  Number of Destination Unreachable Events 0
  Number of No Buffer Events 0
  Number of Packets Dropped (No Route to Host) 0
  Number of Packets Dropped (other) 0
  Number of Packets Dropped (LC to RP Error) 0
  Number of Packets Dropped (Output Drops) 0
  Time statistics were last cleared: Never
Flow exporter timeout:
Export Version 5
Exporter Statistics
  Number of Flow Records Exported 0
  Number of Export Packets Sent 0
  Number of Export Bytes Sent 0
  Number of Destination Unreachable Events 0
  Number of No Buffer Events 0
  Number of Packets Dropped (No Route to Host) 0
  Number of Packets Dropped (other) 0
  Number of Packets Dropped (LC to RP Error) 0
  Number of Packets Dropped (Output Drops) 0
  Time statistics were last cleared: Never
Flow exporter test-exporter:
Description: test server in San Jose CA
Export Version 5
Exporter Statistics
  Number of Flow Records Exported 0
  Number of Export Packets Sent 0
  Number of Export Bytes Sent 0
  Number of Destination Unreachable Events 0
  Number of No Buffer Events 0
  Number of Packets Dropped (No Route to Host) 0
  Number of Packets Dropped (other) 0
  Number of Packets Dropped (LC to RP Error) 0
  Number of Packets Dropped (Output Drops) 0
  Time statistics were last cleared: Never
```

出力の各フィールドの意味は自明です。

関連コマンド

コマンド	説明
clear flow exporter	エクスポートの統計情報を消去します。
destination	フロー エクスポートのエクスポート先を設定します。
dscp	フロー エクスポートのオプションの DSCP パラメータを設定します。
export-protocol	フロー エクスポートのエクスポート プロトコルのバージョンを設定します。
flow exporter	フロー エクスポートを作成します。
option	フロー エクスポートのオプションを設定します。
show flow exporter	フロー エクスポートのステータスと統計情報を表示します。
source	フロー エクスポートの送信元 IP アドレス インターフェイスを設定します。
template	フロー エクスポートのテンプレート再送信タイムアウトを設定します。
transport	フロー エクスポートのトランスポートプロトコルを設定します。
ttl	フロー エクスポートの time-to-live (TTL; 存続可能時間) を設定します。

show flow interface

特定のインターフェイスについて Flexible NetFlow のコンフィギュレーションとステータスを表示するには、**show flow interface** コマンドを Any モードで使用します。

```
show flow interface [interface-type number]
```

シンタックスの説明	<i>interface-type number</i>	(任意)Flexible NetFlow のアカウント構成情報を表示するインターフェイスのタイプ。
------------------	------------------------------	---

コマンドのデフォルト設定 インターフェイスの Flexible NetFlow アカウント構成情報を表示します。

コマンドモード Any

サポートされるユーザロール ネットワーク管理者
VDC 管理者

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン **show flow interface** コマンドを使用するには、事前に、Flexible NetFlow によるトラフィック モニタリングをイネーブルにしておく必要があります。

このコマンドにライセンスは不要です。

例 次に、Ethernet 0/0 および 0/1 インターフェイスの Flexible NetFlow アカウント設定を表示する例を示します。

```
switch# show flow interface ethernet 1/0
Interface Ethernet1/0
  FNF:  monitor:      NFC-DC-PHOENIX
        direction:   Output
        traffic(ip):  on

switch# show flow interface ethernet 0/0
Interface Ethernet0/0
  FNF:  monitor:      FLOW-MONITOR-1
        direction:   Input
        traffic(ip):  sampler SAMPLER-2#
```

表 1 に、この出力に表示されている重要なフィールドについて説明します。

表 1 show flow interface のフィールドの説明

フィールド	説明
Interface	コマンドの対象となるインターフェイス
monitor	インターフェイス上に設定されているフロー モニタの名前
direction:	フロー モニタが監視しているトラフィックの方向 次のどちらかの値が表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> • Input — インターフェイスが受信しているトラフィック • Output — インターフェイスが送信しているトラフィック
traffic (ip)	フロー モニタが通常モードとサンプラ モードのどちらであることを示します。 次のどちらかの値が表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> • On — 通常モード • Sampler — サンプラ モード (サンプラの名前も表示されます)

関連コマンド

コマンド	説明
show flow monitor	フロー モニタのステータスと統計情報を表示します。

show flow monitor

Flexible NetFlow フロー モニタのステータスと統計情報を表示するには、**show flow monitor** コマンドを Any モードで使用します。

show flow monitor [*name exporter-name*]

シンタックスの説明	name exporter-name	(任意) フロー エクスポートの名前を指定します。64 文字以内の英数字のストリング (大文字と小文字を区別) を指定します。
------------------	---------------------------	---

コマンドのデフォルト設定 ルータに設定されているすべてのフロー エクスポートの情報が表示されます。

コマンド モード Any

サポートされるユーザロール ネットワーク管理者
VDC 管理者

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン **show flow exporter** コマンドを使用するには、事前に、エクスポートを使用して Flexible NetFlow によるトラフィック モニタリングをイネーブルにしておく必要があります。

このコマンドにライセンスは不要です。

例 次に、フロー モニタのステータスと統計情報を表示する例を示します。

```
switch# show flow monitor NFC-DC-PHOENIX statistics
Cache type:                               Normal
Cache size:                               4096
Current entries:                           4
High Watermark:                           6

Flows added:                              116
Flows aged:                                112
- Active timeout ( 1800 secs)              0
- Inactive timeout ( 15 secs)              112
- Event aged                               0
- Watermark aged                           0
- Emergency aged                           0
```

表 2 に、この出力に表示されている重要なフィールドについて説明します。

表 2 show flow monitor monitor-name フィールドの説明

フィールド	説明
Cache Type	フロー モニタのキャッシュ タイプ 次のいずれかの値が表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> Normal — フローが通常どおり期限切れになる Permanent — フローが期限切れにならない Immediate — フローが即座に期限切れになる
Cache Size	キャッシュ内エントリ数
Current entries	使用中のキャッシュ内エントリ数
High Watermark	認識可能なキャッシュ エントリの最大数
Flows added	キャッシュの作成後にキャッシュに追加されたフロー
Flows aged	キャッシュの作成後に期限切れになったフロー
Active Timeout	アクティブ タイムアウトの現在値
Inactive Timeout	非アクティブ タイムアウトの現在値
Event aged	clear flow monitor コマンドの force-export オプションが使用された、または最大値に達したためカウンタ値がラップした、などのイベントによってエージングされたフローの数
Watermark aged	最高水準点を越えたためにエージングされたフローの数
Emergency aged	新しいフローを追加できるようにキャッシュからエージング アウトされたフローの数

次に、フロー モニタのステータスを表示する例を示します。

```
switch# show flow monitor NFC-DC-PHOENIX

Flow Monitor NFC-DC-PHOENIX:
  Description:      Used for basic traffic analysis
  Flow Record:     netflow-original
  Flow Exporter:   EXP-DC-TOPEKA
                  EXP-DC-PHOENIX

  Cache:
    Type:          normal
    Status:        allocated
    Size:          4096 entries / 311316 bytes
    Inactive Timeout: 15 secs
    Active Timeout: 1800 secs
    Update Timeout: 1800 secs
```

表 3 に、この出力に表示されている重要なフィールドについて説明します。

表 3 show flow monitor monitor-name フィールドの説明

フィールド	説明
Flow Monitor	設定したフロー モニタの名前
Description	モニタに設定した説明、またはユーザ定義のデフォルトの説明
Flow Record	フロー モニタに割り当てられたフロー レコード
Flow Exporter	フロー モニタに割り当てられたエクスポート
Cache	フロー モニタのキャッシュに関する情報

表 3 show flow monitor monitor-name フィールドの説明 (続き)

フィールド	説明
Type	フロー モニタのキャッシュ タイプ 次のいずれかの値が表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> • Normal — フローが通常どおり期限切れになる • Permanent — フローが期限切れにならない • Immediate — フローが即座に期限切れになる
Status	フロー モニタ キャッシュのステータス 次のいずれかの値が表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> • Allocated — キャッシュが割り当てられている • Being deleted — キャッシュが削除されている • Not allocated — キャッシュが割り当てられていない
Size	現在のキャッシュ サイズ
Inactive Timeout	非アクティブ タイムアウトの現在値
Active Timeout	アクティブ タイムアウトの現在値
Update Timeout	更新タイムアウトの現在値

次に、NFC-DC-PHOENIX という名前のフロー モニタのステータスと統計情報を表示する例を示します。

```
switch# show flow monitor NFC-DC-PHOENIX cache
Cache type:                               Normal
Cache size:                               4096
Current entries:                           8
High Watermark:                           10

Flows added:                              1560
Flows aged:
- Active timeout ( 1800 secs)             24
- Inactive timeout ( 15 secs)             1528
- Event aged                              0
- Watermark aged                          0
- Emergency aged                          0

IP TOS:                                    0x00
IP PROTOCOL:                               6
IPV4 SOURCE ADDRESS:                      10.10.10.2
IPV4 DESTINATION ADDRESS:                  172.16.10.2
TRNS SOURCE PORT:                          20
TRNS DESTINATION PORT:                    20
INTERFACE INPUT:                           Et0/0
FLOW SAMPLER ID:                           0
ip source as:                              0
ip destination as:                         0
ipv4 next hop address:                     172.16.7.2
ipv4 source mask:                          /0
ipv4 destination mask:                    /24
tcp flags:                                 0x00
interface output:                          Et1/0
counter bytes:                             198520
counter packets:                           4963
timestamp first:                           10564356
timestamp last:                            12154104
```

表 4 に、この出力に表示されている重要なフィールドについて説明します。

表 4 show flow monitor monitor-name フィールドの説明

フィールド	説明
Cache type	フロー モニタのキャッシュ タイプ 次のいずれかの値が表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> • Normal — フローが通常どおり期限切れになる • Permanent — フローが期限切れにならない • Immediate — フローが即座に期限切れになる
Cache Size	キャッシュ内エントリ数
Current entries	使用中のキャッシュ内エントリ数
High Watermark	認識可能なキャッシュ エントリの最大数
Flows added	キャッシュの作成後にキャッシュに追加されたフロー
Flows aged	キャッシュの作成後に期限切れになったフロー
Active timeout	アクティブ タイムアウトの現在値
Inactive timeout	非アクティブ タイムアウトの現在値
Event aged	clear flow monitor コマンドの force-export オプションの使用などのイベントによってエージングされたフローの数
Watermark aged	最高水準点を越えたためにエージングされたフローの数
Emergency aged	新しいフローを追加できるようにキャッシュからエージングアウトされたフローの数
IP TOS	IP Type of Service (ToS; タイプ オブ サービス) の値
IP PROTOCOL	プロトコル番号
IPV4 SOURCE ADDRESS	IPv4 送信元アドレス
IPV4 DESTINATION ADDRESS	IPv4 宛先アドレス
TRNS SOURCE PORT	トランスポート プロトコルの送信元ポート
TRNS DESTINATION PORT	トランスポート プロトコルの宛先ポート
INTERFACE INPUT	入力を受信するインターフェイス
FLOW SAMPLER ID	フロー サンプラの ID 番号
ip source as	BGP 送信元の AS 番号
ip destination as	BGP 宛先の AS 番号
ipv4 next hop address	パケット転送先ネクストホップの IPv4 アドレス
ipv4 source mask	IPv4 送信元アドレス マスク
ipv4 destination mask	IPv4 宛先アドレス マスク
tcp flags	TCP フラグの値
interface output	入力を送信するインターフェイス
counter bytes	カウントされたバイト数
counter packets	カウントされたパケット数
timestamp first	フロー内の最初のパケットのタイムスタンプ
timestamp last	フロー内の最後のパケットのタイムスタンプ

次に、NFC-DC-PHOENIX という名前のフロー モニタのステータスと統計情報を表形式で表示する例を示します。

```
switch# show flow monitor NFC-DC-PHOENIX cache format table
Cache type:                               Normal
Cache size:                               4096
Current entries:                           4
High Watermark:                            6

Flows added:                               90
Flows aged:                                86
- Active timeout ( 1800 secs)              0
- Inactive timeout ( 15 secs)              86
- Event aged                               0
- Watermark aged                           0
- Emergency aged                            0

IP TOS   IP PROT  IPV4 SRC ADDR      IPV4 DST ADDR      TRNS SRC PORT  TRNS DST PORT
=====  =====  =====
0x00     1   10.251.10.1      172.16.10.2        0                02
0x00     1   10.251.10.1      172.16.10.2        0                20484
0xC0     17  172.16.6.1       224.0(1).0.9       520              5202
0x00     6   10.10.11.1       172.16.10.5        25              252

switch#
```

関連コマンド

コマンド	説明
cache	フロー モニタのフロー キャッシュ パラメータを設定します。
clear flow monitor	フロー モニタをクリアします。
exporter	フロー モニタのフロー エクスポートを指定します。
flow monitor	フロー モニタを作成します。
protocol-distribution	フロー モニタのプロトコル分散統計情報の収集を設定します。
record	フロー モニタのフロー レコードを設定します。
show flow monitor	フロー モニタのステータスと統計情報を表示します。
size-distribution	フロー モニタのサイズ分散統計情報の収集を設定します。

show flow record

Flexible NetFlow フロー レコードのステータスと統計情報を表示するには、**show flow record** コマンドを使用します。

```
show flow record [name record-name | netflow ipv4 record | netflow-original]
```

シンタックスの説明	name record-name	(任意) 事前に設定したフロー レコードの名前を指定します。
	netflow ipv4 record	(任意) 定義済みレコードの 1 つを使用するようにフロー モニタを設定します。使用可能なレコードとその定義の一覧を 表 5 に示します。
	netflow-original	(任意) 起点自律システム固有の NetFlow の Flexible NetFlow による実装を指定します。

コマンドのデフォルト設定 ルータに設定されているすべてのフロー エクスポートの情報が表示されます。

コマンド モード Any

サポートされるユーザロール ネットワーク管理者
VDC 管理者

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン **show flow exporter** コマンドを使用するには、事前に、エクスポートを使用して Flexible NetFlow によるトラフィック モニタリングをイネーブルにしておく必要があります。

このコマンドにライセンスは不要です。

[表 5](#) に、record 引数のキーワードと説明を示します。

表 5 record 引数のキーワードと説明

original-input	従来の IPv4 入力 NetFlow
original-output	従来の IPv4 出力 NetFlow
protocol-port	プロトコル ポート レコード

例

次に、元の入力 NetFlow レコードのステータスと統計情報を表示する例を示します。

```
switch# show flow record netflow ipv4 original-input
Flow record ipv4 original-input:
  Description: Traditional IPv4 input NetFlow
  No. of users: 0
  Template ID: 0
  Fields:
    match ipv4 source address
    match ipv4 destination address
    match ip protocol
    match ip tos
    match transport source-port
    match transport destination-port
    match interface input
    collect routing source as
    collect routing destination as
    collect routing next-hop address ipv4
    collect transport tcp flags
    collect counter bytes
    collect counter packets
    collect timestamp sys-uptime first
    collect timestamp sys-uptime last
    collect interface output
switch#
```

表 6 に、この出力に表示されている重要なフィールドについて説明します。

表 6 show flow record netflow-original フィールドの説明

フィールド	説明
Description	レコードに設定した説明、またはユーザ定義のデフォルトの説明
No. of users	コンフィギュレーションにおけるこのレコードへの参照の数
Total field space	これらのフィールドを格納するために必要な 1 フローあたりのバイト数
Fields	このレコードに含まれるフィールド。各フィールドの詳細については、 match および collect コマンドを参照してください。

関連コマンド

コマンド	説明
cache	フロー モニタのフロー キャッシュ パラメータを設定します。
clear flow monitor	フロー モニタをクリアします。
exporter	フロー モニタのフロー エクスポートを指定します。
flow monitor	フロー モニタを作成します。
protocol-distribution	フロー モニタのプロトコル分散統計情報の収集を設定します。
record	フロー モニタのフロー レコードを設定します。
show flow monitor	フロー モニタのステータスと統計情報を表示します。
size-distribution	フロー モニタのサイズ分散統計情報の収集を設定します。
cache	フロー モニタのフロー キャッシュ パラメータを設定します。
clear flow monitor	フロー モニタをクリアします。
debug flow monitor	フロー モニタのデバッグ出力をイネーブルにします。
exporter	フロー モニタのフロー エクスポートを指定します。
flow monitor	フロー モニタを作成します。
protocol-distribution	フロー モニタのプロトコル分散統計情報の収集を設定します。
record	フロー モニタのフロー レコードを設定します。

show flow timeout

Flexible NetFlow フローのキャッシュ タイムアウト値を表示するには、**show flow timeout** コマンドを Any モードで使用します。

show flow timeout

シンタックスの説明 このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

コマンドのデフォルト設定 インターフェイスの Flexible NetFlow アカウント構成情報が表示されます。

コマンド モード Any

サポートされるユーザロール ネットワーク管理者
VDC 管理者

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン **show flow timeout** コマンドを使用するには、事前に、Flexible NetFlow によるトラフィック モニタリングをイネーブルにしておく必要があります。

このコマンドにライセンスは不要です。

例 次に、Flexible NetFlow フローのキャッシュ タイムアウト値を表示する例を示します。

```
switch# show flow timeout
Flow timeout values
  Active timeout:          1800 seconds
  Inactive timeout:       15 seconds
  Fast timeout:           Disabled
  Session aging timeout:  Disabled
  Aggressive aging timeout: Disabled
switch#
```

出力の各フィールドの意味は自明です。

関連コマンド	コマンド	説明
	flow timeout	フロー タイムアウトを作成します。

show hardware fabric-utilization

ファブリック使用率を表示するには、**show hardware fabric-utilization** コマンドを使用します。

show hardware fabric-utilization [*detail*] [*module slot-number*]

シンタックスの説明	detail	(任意) ファブリック使用率に関する詳細な情報を表示します。
	<i>module slot-number</i>	(任意) モジュール固有の情報を表示します。

コマンドのデフォルト設定 なし

コマンドモード Any

サポートされるユーザロール ネットワーク管理者
VDC 管理者

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(3)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン このコマンドにライセンスは不要です。

例 次に、ファブリック使用率を表示する例を示します。

```
switch(config)# show hardware fabric-utilization
-----
Slot  Direction  Utilization
-----
  2   ingress    3%
  2   egress     3%
  6   ingress    1%
  6   egress     1%
```

出力の各フィールドの意味は自明です。

show hardware flow aging

NetFlow ハードウェア フロー エージングに関する情報を表示するには、**show hardware flow aging** コマンドを使用します。

show hardware flow aging [*vdc vdc-name*] [*detail*] [*module slot-number*]

シンタックスの説明	パラメータ	説明
	<i>vdc vdc-name</i>	(任意) VDC 名を指定します。64 文字以内の英数字のストリング (大文字と小文字を区別) で指定します。
	<i>detail</i>	(任意) フローに関する詳細な情報を表示します。
	<i>module slot-number</i>	(任意) モジュール固有の情報を表示します。

コマンドのデフォルト設定 なし

コマンド モード Any

サポートされるユーザロール ネットワーク管理者
VDC 管理者

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン **show hardware flow aging** コマンドを使用するには、事前に、Flexible NetFlow によるトラフィックモニタリングをイネーブルにしておく必要があります。

このコマンドにライセンスは不要です。

例 次に、モジュール 2 の NetFlow エージング値を表示する例を示します。

```
switch(config)# show hardware flow aging module 2
VDC(1) Aging Information (time unit is second):

AgingType  Enabled  Timeout  Period  Threshold
-----+-----+-----+-----+-----
Active     Yes      1800     360     N/A
Inactive   Yes      15       3       N/A
Fast       Yes      33       6       22
Aggressive No       90       18      90
Session    No       2        5       N/A
switch(config)#
```

出力の各フィールドの意味は自明です。

関連コマンド	コマンド	説明
	flow timeout	フロー タイムアウトを作成します。

show hardware flow entry

NetFlow テーブル エントリに関する情報を表示するには、**show hardware flow entry** コマンドを使用します。

show hardware flow entry address location type {ip | ipv6} [detail] [module slot-number]

シンタックスの説明	location	NetFlow テーブル エントリのアドレス (16 進数)。アドレス範囲は 0x0 ~ 0x3ffff です。
	ip	IP フローに関する詳細な情報を表示します。
	ipv6	IPv6 フローに関する詳細な情報を表示します。
	detail	(任意) フローに関する詳細な情報を表示します。
	module slot-number	(任意) モジュール固有の情報を表示します。

コマンドのデフォルト設定 なし

コマンド モード Any

サポートされるユーザ ロール ネットワーク管理者
VDC 管理者

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン **show hardware flow entry** コマンドを使用するには、事前に、Flexible NetFlow によるトラフィック モニタリングをイネーブルにしておく必要があります。

このコマンドにライセンスは不要です。

例

次に、モジュール 2 の NetFlow テーブル エントリを表示する例を示します。

```
switch(config)# show hardware flow entry address 0x0 type ip module 2
NT Entry Info (dev_id = 0, nt_entry_addr = 0x00000000):

protocol                = 0 (0=IPv4/IPMAC, 1=IPv6, 2=L2, 3=MPLS)
profile_id              = 0
recir_id                = 0
is_routed               = 0
from_rp                 = 0
lkup_dir                = 0 (0=Ingress, 1=Egress)
ilif(ovld_a)            = 0x0
elif(ovld_b)            = 0x0
tos(ovld_e)              = 0
l4_protocol             = 0
l4_hdr_vld              = 0
fragment                = 0
mpls                    = 0
l4_info(ovld_d)         = 0x00000000
ipv4_sa(ovld_f)         = 0.0.0.0
ipv4_da(ovld_g)         = 0.0.0.0
ipmac                   = 0
segment                 = 0
hash_addr               = 0x0
icam                    = 0
create_ts               = 0
sh_plc_idx/sampler_id  = 0x0
rdt_tbl_idx             = 0x0
ignr_aclo               = 0
ignr_qoso               = 0
ignr_acc                = 0
ignr_agg_qos            = 0
tcp_rdt_dst             = 0
copy_policy_idx         = 0x0
nf_acos                 = 0
mark_en                 = 0
nf_qos_mode             = 0
policer_param_idx      = 0x0
elam_trig               = 0
valid                   = 0
sw_entry                = 0
profile_merged          = 0
fast_ag_en              = 0
sw_bits1                = 0
dgt_mode                = 0
adj_ptr/dgt             = 0x0
ignr_qosi               = 0
ignr_acli               = 0

NS Entry Info (dev_id = 0, ns_entry_addr = 0x00000000):

ack_after_fin           = 0
tcp_flag                 = 0x0 (URG=0, ACK=0, PSH=0, RST=0, SYN=0, FIN=0)
mf_ls_ts                 = 0
mf_bkt                   = 0
nf_pkt_cnt               = 0000000000
nf_byte_cnt              = 00000000000000
nf_byte_cnt_excd        = 00000000000000
ls_used_ts               = 0
sw_prog/sticky_status   = 0
```

関連コマンド

コマンド	説明
flow	フローを作成します。

show hardware flow ip

NetFlow ハードウェア IP フローに関する情報を表示するには、**show hardware flow ip** コマンドを使用します。

```
show hardware flow ip [interface type number | monitor monitor-name | profile profile-id | vdc
vdc-name | vlan vlan-name] [detail] [module module]
```

シンタックスの説明	
interface interface-type number	(任意) Flexible NetFlow のアカウント構成情報を表示するインターフェイスのタイプを指定します。
monitor monitor-name	(任意) フロー モニタの名前を指定します。64 文字以内の英数字のストリング (大文字と小文字を区別) で指定します。
profile profile-id	(任意) フロー プロファイルの名前を指定します。プロファイル ID の範囲は 0 ~ 31 です。
vdc vdc-name	(任意) VDC 名を指定します。64 文字以内の英数字のストリング (大文字と小文字を区別) で指定します。
detail	(任意) フローに関する詳細な情報を表示します。
module slot-number	(任意) モジュール固有の情報を表示します。

コマンドのデフォルト設定 なし

コマンド モード Any

サポートされるユーザロール ネットワーク管理者
VDC 管理者

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン **show hardware flow ip** コマンドを使用するには、事前に、Flexible NetFlow によるトラフィック モニタリングをイネーブルにしておく必要があります。

このコマンドにライセンスは不要です。

例 次に、モジュール 8 の NetFlow エージング値を表示する例を示します。

```
switch(config)# show hardware flow ip module 8

D - Direction; L4 Info - Protocol:Source Port:Destination Port
IF - Interface: ()ethernet, (S)vi, (V)lan, (P)ortchannel, (T)unnel
TCP Flags: Ack, Flush, Push, Reset, Syn, Urgent

D IF      SrcAddr          DstAddr          L4 Info          PktCnt          TCP Flags
-----+-----+-----+-----+-----+-----+
I 8/26    007.002.000.002  007.001.000.002  000:00000:00000  0000421885     . . . . .
I 8/25    007.001.000.002  007.002.000.002  000:00000:00000  0000421900     . . . . .
O 8/25    007.002.000.002  007.001.000.002  000:00000:00000  0000422213     . . . . .
O 8/26    007.001.000.002  007.002.000.002  000:00000:00000  0000422228     . . . . .
switch(config)#
```

関連コマンド	コマンド	説明
	flow	フローを作成します。

show hardware flow sampler

サンプリングされた NetFlow ハードウェア フローに関する情報を表示するには、**show hardware flow sampler** コマンドを使用します。

```
show hardware flow sampler [all | count | index number | name sampler-name | vdc vdc_id] [detail]
[module module]
```

シンタックスの説明

all	(任意) Netflow サンプラのすべての使用方法を指定します。
count	(任意) サンプラ テーブルの使用率を指定します。
index number	(任意) サンプラ テーブルのインデックス (16 進数) を指定します。有効範囲は 0x0 ~ 0x3ff です。
name sampler-name	(任意) サンプラ名を指定します。64 文字以内の英数字のストリング (大文字と小文字を区別) で指定します。
vdc vdc-name	(任意) VDC 名を指定します。64 文字以内の英数字のストリング (大文字と小文字を区別) で指定します。
detail	(任意) フローに関する詳細な情報を表示します。
module slot-number	(任意) モジュール固有の情報を表示します。

コマンドのデフォルト設定

なし

コマンドモード

Any

サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者
VDC 管理者

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

show hardware flow sampler コマンドを使用するには、事前に、Flexible NetFlow によるトラフィック モニタリングをイネーブルにしておく必要があります。

このコマンドにライセンスは不要です。

例

次に、モジュール 2 の NetFlow サンプラ テーブルの使用率を表示する例を示します。

```
switch# show hardware flow sampler count module 2
Sampler Table Utilization: about 0.00% (0/64)
```

関連コマンド

コマンド	説明
flow	フローを作成します。

show hardware flow utilization

NetFlow ハードウェア フロー使用率に関する情報を表示するには、**show hardware flow utilization** コマンドを使用します。

show hardware flow utilization [module module]

シンタックスの説明	module slot-number (任意) モジュール固有の情報を表示します。
-----------	--

コマンドのデフォルト設定	なし
--------------	----

コマンド モード	Any
----------	-----

サポートされるユーザロール	ネットワーク管理者 VDC 管理者
---------------	----------------------

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン **show hardware flow utilization** コマンドを使用するには、事前に、Flexible NetFlow によるトラフィック モニタリングをイネーブルしておく必要があります。

このコマンドにライセンスは不要です。

例 次に、モジュール 2 の NetFlow サンプラ テーブルの使用率を表示する例を示します。

```
switch# show hardware flow utilization module 2
Flow Utilization: 0.00% (0/515090)

Total number of flows                = 0
IPv4 flow creation failure           = 0
IPv6 flow creation failure           = 0
MPLS flow creation failure           = 0
L2 flow creation failure              = 0
IFE flow creation failure             = 0
OFE flow creation failure             = 0
IFE CF FIFO full failure              = 0
OFE CF FIFO full failure              = 0
IFE NT table full failure             = 0
OFE NT table full failure             = 0
NO freelist pointer failure           = 0
Hash Table(NH) page full failure     = 0
IPMAC lookup failure                  = 0
L2 ACL deny                           = 0
L3 ACL deny                           = 0
IFE CF flow control                   = 0
OFE CF flow control                   = 0
Fast Aging failure                   = 0
switch#
```

関連コマンド	コマンド	説明
	flow	フローを作成します。

show inventory

デバイス ハードウェアのコンポーネント情報を表示するには、**show inventory** コマンドを使用します。

```
show inventory [chassis | clock | fans | module | power_supply]
```

シンタックスの説明

chassis	(任意) シャーシ情報を表示します。
clock	(任意) クロック モジュール情報を表示します。
fans	(任意) ファン情報を表示します。
module	(任意) モジュール情報を表示します。
power_supply	(任意) 電源情報を表示します。

デフォルト

すべてのハードウェア コンポーネント情報を表示します。

コマンド モード

任意のコマンドモード

サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者
VDC 管理者
ネットワーク オペレータ
VDC オペレータ

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

このコマンドにライセンスは不要です。

例

次に、コンフィギュレーションの非互換性を表示する例を示します。

```
switch# show inventory
NAME: "Chassis", DESCR: "Nexus7000 C7010 (10 Slot) Chassis "
PID: N7K-C7010          , VID:          , SN: TBM11256507

NAME: "Slot 2", DESCR: "10/100/1000 Mbps Ethernet Module"
PID: N7K-M148GT-11     , VID:          , SN: JAB104400P0

NAME: "Slot 6", DESCR: "Supervisor module-1X"
PID: N7K-SUP1          , VID: TBD , SN: JAB10380101

NAME: "Slot 11", DESCR: "Fabric card module"
PID: N7K-C7010-FAB-1   , VID:          , SN: JAB104300HM

NAME: "Slot 33", DESCR: "Nexus7000 C7010 (10 Slot) Chassis Power Supply"
PID: FIORANO           , VID:          , SN: DTH1117T005

NAME: "Slot 34", DESCR: "Nexus7000 C7010 (10 Slot) Chassis Power Supply"
PID: N7K-AC-6.0KW     , VID:          , SN: DTH1117T009

NAME: "Slot 36", DESCR: "Nexus7000 C7010 (10 Slot) Chassis Fan Module"
PID:                   , VID: V00, SN:

NAME: "Slot 37", DESCR: "Nexus7000 C7010 (10 Slot) Chassis Fan Module"
PID:                   , VID: V00, SN:

NAME: "Slot 38", DESCR: "Nexus7000 C7010 (10 Slot) Chassis Fan Module"
PID:                   , VID: V00, SN:

NAME: "Slot 39", DESCR: "Nexus7000 C7010 (10 Slot) Chassis Fan Module"
PID:                   , VID: V00, SN:
```

show logging console

コンソール ログ構成を表示するには、**show logging console** コマンドを使用します。

show logging console

シンタックスの説明 このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト なし

コマンドモード Any

サポートされるユーザロール スーパーユーザ
VDC 管理者
VDC ユーザ

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン このコマンドにライセンスは不要です。

例 次に、コンソール ログ構成を表示する例を示します。

```
switch# show logging console
switch#
```

関連コマンド	コマンド	説明
	logging console	コンソールへのログ構成を設定します。

show logging info

ロギング設定を表示するには、**show logging info** コマンドを使用します。

show logging info

シンタックスの説明 このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト なし

コマンドモード Any

サポートされるユーザロール スーパーユーザ
VDC 管理者
VDC ユーザ

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン このコマンドにライセンスは不要です。

例 次に、ロギング設定を表示する例を示します。

```
switch# show logging info
switch#
```

show logging ip access-list cache

IP アクセス リスト キャッシュのロギングに関する情報を表示するには、**show logging ip access-list cache** コマンドを使用します。

```
show logging ip access-list cache
```

シンタックスの説明 このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト なし

コマンド モード Any

サポートされるユーザロール スーパーユーザ
VDC 管理者
VDC ユーザ

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン このコマンドにライセンスは不要です。

例 次に、IP アクセス リスト キャッシュのロギングに関する情報を表示する例を示します。

```
switch# show logging ip access-list cache  
switch#
```

関連コマンド	コマンド	説明
	logging ip access-list	アクセス リストのロギングを設定します。

show logging last

ログ ファイルの末尾の *number* 行を表示するには、**show logging last** コマンドを使用します。

show logging last *number*

シンタックスの説明	<i>number</i>	行数には 1 ~ 9999 を指定します。
------------------	---------------	-----------------------

デフォルト	なし
--------------	----

コマンドモード	Any
----------------	-----

サポートされるユーザロール	スーパーユーザ VDC 管理者 VDC ユーザ
----------------------	-------------------------------

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン	このコマンドにライセンスは不要です。
-------------------	--------------------

例	次に、ログ ファイルの末尾の 42 行を表示する例を示します。
----------	---------------------------------

```
switch# show logging last 42
switch#
```


show logging level

ファシリティ ログイングの重大度設定を表示するには、**show logging console** コマンドを使用します。

show logging level [facility]

シンタックスの説明	<i>facility</i>	(任意) 適切なログイングファシリティ (<i>facility</i>) を指定します。ファシリティの一覧については、「システム メッセージ ログイング ファシリティ」(p.267) を参照してください。
------------------	-----------------	---

デフォルト なし

コマンド モード グローバル コンフィギュレーション

サポートされるユーザロール スーパーユーザ
VDC 管理者
VDC ユーザ

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが導入されました。
	4.0(2)	interface-vlan 、 netstack 、 private-vlan 、および ipv6 の各キーワードが追加されました。

使用上のガイドライン このコマンドにライセンスは不要です。

例 次に、ポートチャネル ログイング重大度の設定を表示する例を示します。

```
switch# show logging level port-channel
switch#
```

関連コマンド	コマンド	説明
	logging level	ファシリティ ログ レベルを設定します。

show logging logfile

ログ ファイル内メッセージのうち、入力した範囲内のタイムスタンプの付いたものを表示するには、**show logging logfile** コマンドを使用します。範囲の終わりを省略すると、現在時刻が使用されます。

```
show logging logfile [start-time yyyy mmm dd hh:mm:ss] [end-time yyyy mmm dd hh:mm:ss]
```

シンタックスの説明	start-time	(任意) 開始時刻を yyyy mmm dd hh:mm:ss という形式で入力します。月は 3 文字 (mmm)、年と日は数字 (yyyy および dd)、時刻はコロンで区切られた数字 (hh:mm:ss) で指定します。
	end-time	(任意) 終了時刻を yyyy mmm dd hh:mm:ss という形式で入力します。月は 3 文字 (mmm)、年と日は数字 (yyyy および dd)、時刻はコロンで区切られた数字 (hh:mm:ss) で指定します。
デフォルト		なし
コマンドモード		Any
サポートされるユーザロール		スーパーユーザ VDC 管理者 VDC ユーザ
コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが導入されました。
使用上のガイドライン		このコマンドにライセンスは不要です。
例		次に、ログ ファイル内メッセージのうち、入力した範囲内のタイムスタンプの付いたものを表示する例を示します。 switch# show logging logfile start-time 2008 mar 11 12:10:00 switch#
関連コマンド	コマンド	説明
	logging logfile	ログ ファイルへのログ記録を設定します。

show logging loopback

ロギング ループバックの設定を表示するには、**show logging loopback** コマンドを使用します。

```
show logging loopback
```

シンタックスの説明 このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト なし

コマンドモード グローバル コンフィギュレーション

サポートされるユーザロール スーパーユーザ
VDC 管理者
VDC ユーザ

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン このコマンドにライセンスは不要です。

例 次に、ロギング ループバックの設定を表示する例を示します。

```
switch# show logging loopback  
switch#
```

show logging module

モジュール ロギングの設定を表示するには、**show logging module** コマンドを使用します。

show logging module

シンタックスの説明 このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト なし

コマンド モード Any

サポートされるユーザ ロール スーパーユーザ
VDC 管理者
VDC ユーザ

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン このコマンドにライセンスは不要です。

例 次に、モジュール ロギングの設定を表示する例を示します。

```
switch# show logging module
switch#
```

関連コマンド	コマンド	説明
	logging module	モジュール ログインを設定します。

show logging monitor

モニタ ロギングの設定を表示するには、**show logging monitor** コマンドを使用します。

```
show logging monitor
```

シンタックスの説明 このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト なし

コマンド モード Any

サポートされるユーザ ロール スーパーユーザ
VDC 管理者
VDC ユーザ

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン このコマンドにライセンスは不要です。

例 次に、モニタ ロギングの設定を表示する例を示します。

```
switch# show logging monitor
switch#
```

関連コマンド	コマンド	説明
	logging monitor	モニタ上のロギングを設定します。

show logging nvram

Nonvolatile RAM (NVRAM) ログ内のメッセージを表示するには、**show logging nvram** コマンドを使用します。

show logging nvram [last number-lines]

シンタックスの説明	last number-lines (任意) 表示する行数を入力します。末尾の <i>number-lines</i> 行が表示されます。1 ~ 100 行を指定します。
------------------	--

デフォルト	なし
--------------	----

コマンドモード	グローバル コンフィギュレーション
----------------	-------------------

サポートされるユーザロール	スーパーユーザ VDC 管理者 VDC ユーザ
----------------------	-------------------------------

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン	このコマンドにライセンスは不要です。
-------------------	--------------------

例	次に、NVRAM ログの末尾の 20 個のメッセージを表示する例を示します。
----------	--

```
switch# show logging nvram last 20
switch#
```

show logging onboard

エラータイプ別オンボードロギング情報を表示するには、**show logging onboard** コマンドを使用します。

```
show logging onboard {boot-uptime | device-version | counter-stats | endtime |
environmental-history | error-stats | exception-log | interrupt-stats | kernel-trace | module num |
obfl-history | obfl-logs | stack-trace | starttime | status}
```

シンタックスの説明

boot-uptime	Onboard Failure Logging (OBFL; オンボード障害ロギング) の起動および動作期間情報を表示します。
counter-stats	(任意) OBFL カウンタ統計情報を表示します。
device-version	OBFL デバイスのバージョン情報を表示します。
endtime <i>mm/dd/yy-HH:MM:SS</i>	指定された終了時刻までの OBFL ログを表示します。
environmental-history	OBFL 環境履歴を表示します。
error-stats	OBFL エラー統計情報を表示します。
exception-log	OBFL 例外ログを表示します。
interrupt-stats	OBFL 割り込み統計情報を表示します。
kernel-trace	OBFL カーネルトレース情報を表示します。
module num	特定のモジュールの OBFL 情報を表示します。
obfl-history	OBFL 履歴情報を表示します。
obfl-logs	OBFL 技術サポート ログ情報を表示します。
stack-trace	OBFL カーネルスタックトレース情報を表示します。
starttime <i>mm/dd/yy-HH:MM:SS</i>	指定された開始時刻からの OBFL ログを表示します。
status	OBFL ステータスのイネーブル/ディセーブルを表示します。

コマンドのデフォルト設定

なし

コマンドモード

Any

サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者
VDC 管理者

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが導入されました。
4.0(2)	counter-stats キーワードが追加されました。

使用上のガイドライン

starttime および **endtime** キーワードの日付および時刻引数は、月 / 日 / 年 (*mm/dd/yy*) のあとにハイフンを挿入し、さらに 24 時制の時 : 分 : 秒 (*HH:MM:SS*) が続く形式で入力します。たとえば、次のように入力します。

- **starttime** 03/17/08-15:01:57
- **endtime** 03/18/08-15:04:57

file の有効な値は次のとおりです。

- **bootflash:**

- **ftp:**
- **scp:**
- **sftp:**
- **slot0:**
- **tftp:**
- **volatile:**

type の有効な値は次のとおりです。

- **begin [-i] [-x] [word]** — テキストにマッチする行から開始します。
 - **-i** — スtringを比較する際、大文字と小文字の違いを無視します。
 - **-x** — 行全体にマッチする行のみを出力します。
 - *word* — 正規表現を指定します。
- **count [>file || type]** — 行数をカウントします。
- **egrep | grep print-match** — **egrep** または **grep**。 **egrep** は **grep** よりも高度な正規表現構文によってテキスト行のマッチングを行います。 **grep** は、1 つ以上の正規表現にマッチするテキスト行を検索して、マッチする行のみを出力します。
 - **-A num** — マッチする行の直後の指定された行数のテキストを出力します。範囲は 1 ～ 999 です。
 - **-B num** — マッチする各行の直前の指定された行数のテキストを出力します。範囲は 1 ～ 999 です。
 - **-c** — マッチする行の総数のみを出力します。
 - **-i** — スtringを比較する際、大文字と小文字の違いを無視します。
 - **-n** — 各マッチ部分の前に行番号を出力します。
 - **-v** — *word* 引数に指定された語がマッチ部分に含まれない行のみを出力します。
 - **-w** — 語全体にマッチする行のみを出力します。
 - **-x** — 行全体にマッチする行のみを出力します。
 - *word* — 正規表現を指定します。
- **exclude [-i] [-x] [word]** — マッチする行を除外します。
 - **-i** — スtringを比較する際、大文字と小文字の違いを無視します。
 - **-x** — 行全体にマッチする行のみを出力します。
 - *word* — 正規表現を指定します。
- **head [-n num]** — ストリーム エディタ。オプションの **-n num** キーワードと引数には、出力行数を指定できます。範囲は 0 ～ 2147483647 です。
- **include [-i] [-x] [word]** — マッチする行を含めます。
 - **-i** — スtringを比較する際、大文字と小文字の違いを無視します。
 - **-x** — 行全体にマッチする行のみを出力します。
 - *word* — 正規表現を指定します。
- **last [num]** — 出力する末尾の行を表示します。オプションの *num* には、出力する行数を指定します。範囲は 0 ～ 9999 です。
- **less [-E] [-d]** — ファイルの終わりで終了します。
 - **-E** — (任意) EOF で終了します。
 - **-d** — (任意) ダム端末を指定します。
- **no-more** — コマンド出力の改ページをオフにします。
- **sed command** — ストリーム エディタ

- **wc** — 単語、行、文字をカウントします。
 - **-c** — (任意) 出力文字カウントを指定します。
 - **-l** — (任意) 出力行カウントを指定します。
 - **-w** — (任意) 出力語カウントを指定します。
 - **>** — ファイルにリダイレクトします。
 - **|** — コマンド出力をフィルタにパイプで結合します。

このコマンドを使用すると、システムハードウェアの OBFL データを表示できます。OBFL 機能はデフォルトでイネーブルになっており、動作温度、ハードウェア動作期間、割り込み、その他の重要なイベントやメッセージを記録します。これらのデータは、シスコ製のルータやスイッチに搭載されているハードウェアカード (またはモジュール) で発生した問題の診断に役立ちます。データは Nonvolatile RAM (NVRAM) 上のログファイルに記録されます。オンボードのハードウェアが起動すると、監視対象の領域ごとに最初のレコードが作成され、それが後続のレコードの基準値となります。

OBFL 機能では、継続的にレコードを収集し古い (履歴) レコードをアーカイブする循環アップデート方式によって、システムの正確なデータを確実に保存します。データは 2 つの形式で記録されます。すなわち、連続するファイル内の測定値やサンプルのスナップショットを表示する連続情報と、収集中のデータに関する詳細を提供するサマリー情報の 2 つです。履歴データが使用できない場合は、「No historical data to display (表示する履歴データがありません)」というメッセージが表示されます。

このコマンドにライセンスは不要です。

例

次に、OBFL の起動および動作期間に関する情報を表示する例を示します。

```
switch# show logging onboard module 2 boot-uptime
Sat Feb 29 18:11:38 2008: Boot Record
-----
Boot Time.....: Sat Feb 29 18:11:38 2008
Slot Number.....: 2
Serial Number.....: JAB0912026U
Bios Version.....: v0.0.8(08/18/07)
Alt Bios Version...: v0.0.8(08/18/07)
Firmware Version...: 3.0(1) [build 3.0(0.291)]
switch#
```

表 7 に、この出力に表示されている重要なフィールドについて説明します。

表 7 show logging onboard boot-uptime コマンドの出力

フィールド	説明
Boot Time	ブート発生時刻
Slot Number	スロット番号
Serial Number	モジュールのシリアル番号
Bios Version	プライマリ バイナリ入出力システム (BIOS) のバージョン
Alt Bios Version	代替 BIOS のバージョン
Firmware Version	ファームウェアのバージョン

次に、OBFL のロギング デバイス情報を表示する例を示します。

```
switch# show logging onboard module 2 device-version
Device Version Records:
-----
Timestamp                Device Name                Instance  Hardware  Software
                          Num                        Version   Version
-----
Sat Feb 29 18:11:38 2008 Stratosphere             0         1         1
Sat Feb 29 18:11:38 2008 Stratosphere             1         1         1
Sat Feb 29 18:11:38 2008 Skyline-asic            0         1         1
Sat Feb 29 18:11:38 2008 Tuscany-asic            0         1         0
Sat Feb 29 18:11:38 2008 X-Bus IO                 0         6         0
Sat Feb 29 18:11:38 2008 Power Mngmnt Epl        0         6         0
Sat Feb 29 18:42:01 2008 Stratosphere             0         1         1
Sat Feb 29 18:42:01 2008 Stratosphere             1         1         1
Sat Feb 29 18:42:01 2008 Skyline-asic            0         1         1
Sat Feb 29 18:42:01 2008 Tuscany-asic            0         1         0
Sat Feb 29 18:42:01 2008 X-Bus IO                 0         6         0
Sat Feb 29 18:42:01 2008 Power Mngmnt Epl        0         6         0
switch#
```

表 8 に、この出力に表示されている重要なフィールドについて説明します。

表 8 show logging onboard device-version コマンドの出力

フィールド	説明
Timestamp	曜日、日付、時刻
Device Name	デバイス名
Instance Num	インスタンス数
Hardware Version	ハードウェア デバイスのバージョン
Software Version	ソフトウェア デバイスのバージョン

次に、OBFL の例外ログ情報を表示する例を示します。

```
switch# show logging onboard module 2 exception-log
Sun Feb 24 00:12:35 2008 : Exception Log Record
Device Id : 60
Device Name : DEV_SKYLINE_NI
Device Error Code : f(H)
Device Error Name : SKY_NI_ERR_BM_B1_3_BIST_FAILED
Sys Error : Skyline ni module experienced an error
Ertype : NON-CATASTROPHIC
PhyPortLayer : Fibre Channel
Port(s) Affected : 13-18
Error Description : Skyline BM B1_3 BIST for interface 2 timed out during init
DSAP : 0
UUID : 0
Time : Sun Feb 24 00:11:25 2008
switch#
```

表 9 に、この出力に表示されている重要なフィールドについて説明します。

表 9 show logging onboard exception-log コマンドの出力

フィールド	説明
Sun Feb 24 00:12:35 2008:	例外が記録された日付と時刻
Device Id :	デバイス識別番号
Device Name :	デバイス名
Device Error Code :	デバイス固有のエラー コード
Device Error Name :	デバイス エラー名
Sys Error :	システム エラー メッセージ
Errtype :	エラー タイプ
PhyPortLayer :	物理層タイプ
Port(s) Affected :	影響を受けたポートの番号
Error Description :	エラーの説明
DSAP :	Destination Session Announcement Protocol (DSAP; 宛先セッション通知プロトコル) 識別子
UUID :	Universal unique identifier (UUID)

次に、OBFL 履歴情報を表示する例を示します。

```
switch# show logging onboard module 2 obfl-history
OBFL history records:
-----
Sat Feb 29 30 18:09:57 2008 : OBFL all logs cleared
Sat Feb 29 18:47:53 2008 : OBFL miscellaneous-error logs cleared
Sat Feb 29 20:07:45 2008 : OBFL miscellaneous-error logs cleared
switch#
```

show logging onboard obfl-history コマンドは次の情報を表示します。

- OBFL が手動でディセーブルにされたときのタイムスタンプ
- OBFL が手動でイネーブルにされたときのタイムスタンプ
- OBFL データが手動で消去されたときのタイムスタンプ

次に、OBFL カーネル スタック トレース情報を表示する例を示します。

```
switch# show logging onboard module 2 stack-trace
===== STACK TRACE =====
Logging time: Sat Feb 29 19:47:38 2008
watchdog timeout: process swapper (0), jiffies 0x169bb
Stack: c0006e98 c001721c d195f5b4 c0005424 c0005500 c0003e90 c0005a2c c0005a40
c0001a88 c01bf610 c0000394
Call Trace:
print_stack2_buf + 0x50
kernel_thread + 0xb94
klm_cctrl + 0x4554
ppc_irq_dispatch_handler + 0x190
do_IRQ + 0x3c
ret_from_intercept + 0x0
probe_irq_mask + 0x494
probe_irq_mask + 0x4a8
transfer_to_handler + 0x15c
softnet_data + 0x2b0
Registers:
NIP: C0005A20 XER: 00000000 LR: C0005A2C SP: C01AA120 REGS: c01aa070 TRAP: 0500
Tainted: PF
MSR: 00009000 EE: 1 PR: 0 FP: 0 ME: 1 IR/DR: 00
DEAR: C0029B40, ESR: C01F0000
MCSR0: 00000000, MCSRR1: 00000000, MCAR: 00000000
MCSR: 00000000 MCAR: 00000000 MCPSUMR: 00000000
TASK = c01a8190[0] 'swapper' Last syscall: 120
last math 00000000 last altivec 00000000 last spe 00000000
GPR00: 00000000 C01AA120 C01A8190 00000000 00000032 C8F1DE28 D1010A9F 00000000
GPR08: 0000180F C01FA39C D1010AA3 C01B8D18 24044244 1003A44C 0FFF6700 10049000
GPR16: 0FFAE1B0 0FFAC90 00000000 00000000 00000000 00000000 00000000 00000001
GPR24: 00000000 00000000 00001160 007FFEAB 007FFE00 C01F0000 C01F0000 00000000
```

show logging onboard stack-trace コマンドは次の情報を表示します。

- 秒単位の時間
- マイクロ秒単位の時間
- エラーを説明するストリング
- 現在のプロセスの名前と識別子
- カーネル ジフィー (システムクロックの最小単位)
- スタック トレース

次に、OBFL エラー統計情報を表示する例を示します。

```
switch# show logging onboard module 2 error-stats
-----
OBFL Data for
  Module: 2
-----

-----
ERROR STATISTICS INFORMATION FOR DEVICE ID 80 DEVICE Eureka
-----
      Error Stat Counter Name      |      Count      |      Time Stamp      |In|Port
      |                          |                  |MM/DD/YY HH:MM:SS|st|Rang
      |                          |                  |                  |Id|e
-----
PB2_TX FlwCtrl from conn. ASIC > pe|0x1          |02/04/08 17:07:28|00|
riod Intr                          |                  |                  |  |
PB2_TX FlwCtrl from conn. ASIC > pe|0x1          |02/06/08 10:54:44|00|
riod Intr                          |                  |                  |  |
-----

-----
ERROR STATISTICS INFORMATION FOR DEVICE ID 81 DEVICE Lamira
-----
      Error Stat Counter Name      |      Count      |      Time Stamp      |In|Port
      |                          |                  |MM/DD/YY HH:MM:SS|st|Rang
      |                          |                  |                  |Id|e
-----
NF2 Interrupt - NH HIT error      |0x1          |02/06/08 10:54:44|00|
-----

switch#
```

表 10 に、この出力に表示されている重要なフィールドについて説明します。

表 10 show logging onboard error-stats コマンドの出力

フィールド	説明
Error Stat Counter Name	エラー統計カウンタの名前
Count	割り込み合計回数
Time Stamp MM/DD/YY HH:MM:SS	エラー発生日時
Inst Id	インスタンス番号
Port Range:	影響を受けたポートの番号範囲

関連コマンド

clear logging onboard	永続ログ内の OBFL エントリを消去します。
hw-module logging onboard	エラータイプに基づいて OBFL エントリをイネーブル/ディセーブルにします。

show logging onboard

Onboard Failure Logging (OBFL; オンボード障害ロギング) を表示するには、**show logging onboard** コマンドを使用します。

```
show logging onboard {boot-uptime | device-version | endtime time [options] | environmental-history
| error-stats [port number] | exception-log | interrupt-stats | module module [options] |
obfl-history | obfl-logs | stack-trace | starttime time [options] | status}
```

シンタックスの説明

boot-uptime	OBFL の起動および動作期間情報を表示します。
device-version	OBFL デバイスのバージョン情報を表示します。
endtime time [options]	終了時刻（書式は <i>mm/dd/yy-HH:MM:SS</i> ）までの OBFL ログを表示します。
environmental-history	OBFL 環境履歴を表示します。
error-stats [port number]	OBFL エラー統計情報を表示します。オプションのポート番号を指定することにより、特定のポートのエラー統計情報を表示できます。
exception-log	OBFL 例外ログを表示します。
interrupt-stats	OBFL 割り込み統計情報を表示します。
module module [options]	特定のモジュールの OBFL 情報を表示します。モジュール番号 (<i>module</i>) は 1 ~ 10 の範囲で入力します。 選択したモジュールの詳細な情報を取得するために、 show logging onboard コマンドのその他の引数をオプションで指定できます。
obfl-history	OBFL 履歴情報を表示します。
obfl-logs	OBFL 技術サポート ログを表示します。
stack-trace	OBFL スタック トレースを表示します。
starttime time [options]	開始時刻（形式は <i>mm/dd/yy-HH:MM:SS</i> ）からの OBFL ログを表示します。
status	OBFL のイネーブル/ディセーブルステータスを表示します。

デフォルト

なし

コマンドモード

Any

サポートされるユーザロール

スーパーユーザ
VDC 管理者
VDC ユーザ

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

このコマンドにライセンスは不要です。

例

次に、2008 年 3 月 10 日 午後 3 時 45 分からの OBFL を表示する例を示します。

```
switch# show logging onboard starttime 03/10/08-15:45:00
switch#
```

show logging server

Syslog サーバの設定を表示するには、**show logging server** コマンドを使用します。

show logging server

シンタックスの説明 このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト なし

コマンドモード Any

サポートされるユーザロール スーパーユーザ
VDC 管理者
VDC ユーザ

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン このコマンドにライセンスは不要です。

例 次に、Syslog サーバの設定を表示する例を示します。

```
switch# show logging server
switch#
```

関連コマンド	コマンド	説明
	logging server	リモート Syslog サーバを設定します。

show logging session status

ロギングセッションのステータスを表示するには、**show logging session status** コマンドを使用します。

show logging session status

シンタックスの説明 このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト なし

コマンド モード Any

サポートされるユーザ ロール スーパーユーザ
VDC 管理者
VDC ユーザ

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン このコマンドにライセンスは不要です。

例 次に、ロギングセッションのステータスを表示する例を示します。

```
switch# show logging session status
switch#
```


show logging status

ロギング ステータスを表示するには、**show logging status** コマンドを使用します。

```
show logging status
```

シンタックスの説明 このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト なし

コマンドモード Any

サポートされるユーザロール スーパーユーザ
VDC 管理者
VDC ユーザ

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン このコマンドにライセンスは不要です。

例 次に、ロギング ステータスを表示する例を示します。

```
switch# show logging status  
switch#
```

show logging timestamp

ロギング タイムスタンプの設定を表示するには、**show logging timestamp** コマンドを使用します。

show logging timestamp

シンタックスの説明 このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト なし

コマンドモード Any

サポートされるユーザロール スーパーユーザ
VDC 管理者
VDC ユーザ

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン このコマンドにライセンスは不要です。

例 次に、ロギング タイムスタンプの設定を表示する例を示します。

```
switch# show logging timestamp
switch#
```

関連コマンド	コマンド	説明
	logging timestamp	ロギング タイムスタンプの細かさを設定します。

show logging level ntp

Network Time Protocol (NTP; ネットワーク タイム プロトコル) の Syslog ログレベルを表示するには、**show logging level ntp** コマンドを使用します。

show logging level ntp

シンタックスの説明 このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト なし

コマンド モード 任意のコマンドモード

サポートされるユーザロール ネットワーク管理者
ネットワーク オペレータ
VDC 管理者
VDC オペレータ

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン このコマンドにライセンスは不要です。

例 次に、NTP ログレベルを表示する例を示します。

```
switch(config)# show logging-level ntp
```

関連コマンド	コマンド	説明
	logging level ntp	NTP ログレベルを設定します。

show module

モジュール情報を表示するには、**show module** コマンドを使用します。

```
show module [slot {bandwidth-fairness | recovery-steps} | uptime | xbar [xbar-slot]]
```

シンタックスの説明

slot	(任意) I/O モジュールまたはスーパーバイザ モジュールのスロット番号
bandwidth-fairness	モジュールの帯域幅公平性状態を表示します。
recovery-steps	モジュールをダウン状態から回復する手順を表示します。
uptime	(任意) モジュールのリロード後の経過時間を表示します。
xbar	(任意) ファブリック モジュールの情報を表示します。
xbar-slot	(任意) ファブリック モジュールのスロット番号

デフォルト

シャーシ内のすべての I/O モジュールとスーパーバイザ モジュールの情報を表示します。

コマンド モード

任意のコマンドモード

サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者
VDC 管理者
ネットワーク オペレータ
VDC オペレータ

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

このコマンドにライセンスは不要です。

例

次に、シャーシ内のすべてのモジュールに関する情報を表示する例を示します。

```
switch# show module
Mod  Ports  Module-Type                               Model                               Status
---  ---
2    48     10/100/1000 Mbps Ethernet Module      N7K-M148GT-11                       ok
6     0     Supervisor module-1X                   N7K-SUP1                              active *

Mod  Sw           Hw           World-Wide-Name (s) (WWN)
---  ---
2    4.0 (2)     0.407      --
6    4.0 (2)     0.311      --

Mod  MAC-Address (es)                               Serial-Num
---  ---
2    00-19-07-6c-4d-a8 to 00-19-07-6c-4d-dc      JAB104400P0
6    00-19-07-6c-1a-78 to 00-19-07-6c-1a-80      JAB10380101

* this terminal session
```

次に、特定のモジュールに関する情報を表示する例を示します。

```
switch# show module 2
Mod  Ports  Module-Type                      Model                      Status
---  ---
2    48      10/100/1000 Mbps Ethernet Module N7K-M148GT-11             ok

Mod  Sw                Hw      World-Wide-Name(s) (WWN)
---  ---
2    4.0(2)           0.407   --
Mod  MAC-Address(es)  Serial-Num
---  ---
2    00-19-07-6c-4d-a8 to 00-19-07-6c-4d-dc  JAB104400P0
```

次に、ファブリック モジュールに関する情報を表示する例を示します。

```
switch# show module xbar
Xbar Ports  Module-Type                      Model                      Status
---  ---
1    0        Xbar                            N7K-C7010-FAB-1           ok

Xbar Sw                Hw      World-Wide-Name(s) (WWN)
---  ---
1    NA                0.203   --
Xbar MAC-Address(es)  Serial-Num
---  ---
1    NA                JAB104300HM

* this terminal session
```

関連コマンド

コマンド	説明
<code>show hardware</code>	ハードウェアに関する情報を表示します。
<code>show inventory</code>	ハードウェア コンポーネント情報を表示します。

show ntp peer-status

Network Time Protocol (NTP; ネットワーク タイム プロトコル) ピアのステータスを表示するには、**show ntp peer-status** コマンドを使用します。

show ntp peer-status

シンタックスの説明 このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト なし

コマンド モード 任意のコマンドモード

サポートされるユーザロール ネットワーク管理者
ネットワーク オペレータ
VDC 管理者
VDC オペレータ

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン このコマンドにライセンスは不要です。

例 次に、NTP ピア ステータスを表示する例を示します。

```
switch(config)# show ntp peer-status
```

関連コマンド	コマンド	説明
	show ntp peers	NTP ピアに関する情報を表示します。

show ntp peers

Network Time Protocol (NTP; ネットワーク タイム プロトコル) ピアに関する情報を表示するには、**show ntp peers** コマンドを使用します。

```
show ntp peers
```

シンタックスの説明 このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト なし

コマンド モード 任意のコマンドモード

サポートされるユーザロール ネットワーク管理者
ネットワーク オペレータ
VDC 管理者
VDC オペレータ

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン このコマンドにライセンスは不要です。

例 次に、NTP ピアに関する情報を表示する例を示します。

```
switch(config)# show ntp peers
```

関連コマンド	コマンド	説明
	show ntp peer-status	NTP ピアに関するステータス情報を表示します。

show ntp source

Network Time Protocol (NTP; ネットワーク タイム プロトコル) ソースに関する情報を表示するには、**show ntp source** コマンドを使用します。

show ntp source

シンタックスの説明 このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト なし

コマンド モード 任意のコマンドモード

サポートされるユーザロール ネットワーク管理者
ネットワーク オペレータ
VDC 管理者
VDC オペレータ

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン このコマンドにライセンスは不要です。

例 次に、NTP ソースの情報を表示する例を示します。

```
switch(config)# show ntp source
```

関連コマンド	コマンド	説明
	ntp source	NTP ソースを設定します。

show ntp statistics

Network Time Protocol (NTP; ネットワーク タイム プロトコル) 統計情報を表示するには、**show ntp statistics** コマンドを使用します。

```
show ntp statistics {io | local | memory | peer} {ipaddr address | name name1 [..namen]}
```

シンタックスの説明		
io		入出力統計情報を表示します。
local		ローカル NTP で保持されるカウンタを表示します。
memory		メモリ コードに関連した統計カウンタを表示します。
peer		ピアのピア単位統計カウンタを表示します。
ipaddr address		IPv4 または IPv6 アドレス設定済みのピアの統計情報を表示します。IPv4 アドレスはドット付き 10 進形式 (x.x.x.x)、IPv6 アドレスは 16 進形式 (A:B::C:D) で指定します。
name name1 [..namen]		1 つまたは複数の名前付きピアの統計情報を表示します。

デフォルト なし

コマンド モード 任意のコマンドモード

サポートされるユーザロール ネットワーク管理者
ネットワーク オペレータ
VDC 管理者
VDC オペレータ

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン このコマンドにライセンスは不要です。

例 次に、NTP 統計情報を表示する例を示します。

```
switch(config)# show ntp statistics local
```

関連コマンド	コマンド	説明
	clear ntp statistics	NTP 統計情報を消去します。

show ntp timestamp-status

Network Time Protocol (NTP; ネットワーク タイム プロトコル) のタイムスタンプ情報を表示するには、**show ntp timestamp-status** コマンドを使用します。

show ntp timestamp-status

シンタックスの説明 このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト なし

コマンド モード 任意のコマンドモード

サポートされるユーザロール ネットワーク管理者
ネットワーク オペレータ
VDC 管理者
VDC オペレータ

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン このコマンドにライセンスは不要です。

例 次に、NTP タイムスタンプのステータスを表示する例を示します。

```
switch(config)# show ntp timestamp-status
```

show processes

デバイスのプロセス情報を表示するには、**show processes** コマンドを使用します。

```
show processes [vdc vdc-number]
```

シンタックスの説明	vdc vdc-number (任意) 特定の Virtual Device Context (VDC; 仮想デバイス コンテキスト) のプロセス情報を表示します。
------------------	---

デフォルト ローカル デバイス内のすべてのプロセスの情報を表示します。

コマンド モード 任意のコマンドモード

サポートされるユーザロール ネットワーク管理者
VDC 管理者
ネットワーク オペレータ
VDC オペレータ

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン 新しい VDC はデフォルトの VDC からのみ指定できます。
このコマンドにライセンスは不要です。

例 次に、デバイスのプロセス情報を表示する例を示します。

```
switch# show processes
```

```

PID      State  PC          Start_cnt  TTY  Type  Process
-----
   1      S     b7f9e468   1          -    O     init
   2      S           0          1          -    O     migration/0
   3      S           0          1          -    O     ksoftirqd/0
   4      S           0          1          -    O     desched/0
   5      S           0          1          -    O     migration/1
   6      S           0          1          -    O     ksoftirqd/1
   7      S           0          1          -    O     desched/1
   8      S           0          1          -    O     events/0
   9      S           0          1          -    O     events/1
  10      S           0          1          -    O     khelper
  15      S           0          1          -    O     kthread
...

```

次に、新しい VDC のプロセス情報を表示する例を示します。

```
switch# show processes vdc 2
```

PID	State	PC	Start_cnt	TTY	Type	Process
1	S	b7f9e468	1	-	O	init
2	S	0	1	-	O	migration/0
3	S	0	1	-	O	ksoftirqd/0
4	S	0	1	-	O	desched/0
5	S	0	1	-	O	migration/1
6	S	0	1	-	O	ksoftirqd/1
7	S	0	1	-	O	desched/1
8	S	0	1	-	O	events/0
9	S	0	1	-	O	events/1
10	S	0	1	-	O	khelper
15	S	0	1	-	O	kthread
...						

show processes cpu

デバイス上のプロセスの CPU 使用状況を表示するには、**show processes cpu** コマンドを使用します。

show processes cpu

シンタックスの説明 このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト ローカル デバイス内のすべてのプロセスの情報を表示します。

コマンド モード 任意のコマンドモード

サポートされるユーザロール ネットワーク管理者
VDC 管理者
ネットワーク オペレータ
VDC オペレータ

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン このコマンドにライセンスは不要です。

例 次に、プロセスの CPU 使用状況を表示する例を示します。

```
switch# show processes cpu

PID      Runtime(ms)   Invoked      uSecs   1Sec   Process
-----
1         286           315748       0        0      init
2         302           636268       0        0      migration/0
3        1586          72636726     0        0      ksoftirqd/0
4         502           1345165      0        0      desched/0
5        1956          559740       3        0      migration/1
6        2218          457761883    0        0      ksoftirqd/1
7        2325          1469647      1        0      desched/1
8        1158          794795       1        0      events/0
9        1258          721210       1        0      events/1
10         62            2779        22        0      khelper
15         0              30          25        0      kthread
24         0              2           5         0      kacpid
102        201            286         704       0      kblockd/0
103        276            516         535       0      kblockd/1
116         0              5           17        0      khubd
...
```

show processes log

プロセス ログの内容を表示するには、**show processes log** コマンドを使用します。

show processes log [details | pid *process-id* | vdc-all]

シンタックスの説明

details	(任意) プロセス ログの詳細な情報を表示します。
pid <i>process-id</i>	(任意) 特定のプロセスについて、プロセス ログの詳細な情報を表示します。プロセス ID の範囲は 1 ~ 2147483647 です。
vdc-all	(任意) すべての VDC のプロセス ログ情報を表示します。

デフォルト

デバイス上のすべてのプロセスのサマリー情報を表示します。

コマンド モード

任意のコマンドモード

サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者
VDC 管理者
ネットワーク オペレータ
VDC オペレータ

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

このコマンドにライセンスは不要です。

例

次に、プロセス ログのサマリー情報を表示する例を示します。

```
switch# show processes log
VDC Process          PID      Normal-exit  Stack  Core  Log-create-time
-----
  1 aclmgr            3632      N           Y      N      Thu Mar 13 21:37:07 2008
  1 aclmgr            4182      N           Y      N      Wed Mar 12 13:45:38 2008
  1 aclmgr            4205      N           Y      N      Wed Mar 12 13:45:38 2008
  1 adjmgr            4333      N           N      N      Sat Nov 24 06:25:20 2007
  1 arbiter           4332      N           Y      N      Mon Nov 19 10:14:42 2007
  1 arp                3870      N           Y      N      Sat Dec 22 12:02:46 2007
  1 clis               10005     N           Y      N      Sat Nov 24 03:46:13 2007
  1 clis               10268     N           N      N      Fri Dec 14 09:13:53 2007
  1 clis               1040      N           Y      N      Fri Nov 16 13:34:30 2007
  ...
```

次に、プロセス ログの詳細な情報を表示する例を示します。

```
switch# show processes log details
=====
Service: aclmgr
Description: ACL Mgr

Started at Thu Mar 13 20:34:35 2008 (507163 us)
Stopped at Thu Mar 13 20:37:07 2008 (664205 us)
Uptime: 2 minutes 32 seconds

Start type: SRV_OPTION_RESTART_STATELESS (23)
Death reason: SYSMGR_DEATH_REASON_FAILURE_SIGNAL (2)
System image name: n7000-s1-dk9.4.0.1.gbin
System image version: 4.0(1) S7

PID: 3632
Exit code: signal 11 (core dumped)

CWD: /var/sysmgr/work

Virtual Memory:

CODE      08048000 - 0811CCF4
DATA      0811DCF4 - 0811EBE8
BRK       08121000 - 08259000
STACK     BFFFE270
TOTAL     47244 KB

Register Set:

EBX B7D64CD0      ECX 00000001      EDX 00000001
ESI 41170040      EDI 00000000      EBP BFFFD1C8
EAX 00000401      XDS C010007B      XES 0000007B
EAX FFFFFFFF (orig) EIP B7D5BEF2      XCS 00000073
EFL 00010292      ESP BFFFD1C0      XSS 0000007B

Stack: 4272 bytes. ESP BFFFD1C0, TOP BFFFE270

0xBFFFD1C0: B7D5BEE0 B7D64CD0 BFFFD1D8 B7D5C381 .....L.....
0xBFFFD1D0: B7D2614C FF000226 BFFFD218 B7D232BA La..&.....2..
0xBFFFD1E0: B5542014 B7D25DE0 000007DE B5542014 . T..]..... T.
0xBFFFD1F0: B7D08918 B7D2614C FF000226 08241A54 ...La..&...T.$
0xBFFFD200: B5542014 41170034 08241A54 B7D2614C . T.4..AT.$..La..
0xBFFFD210: FF000226 BFFFD2D0 BFFFD278 B7D138CE &.....x....8..
0xBFFFD220: 08246A04 08230074 BFFFD2D0 B7D5A24D .j$.t.#.....M...
0xBFFFD230: B7D6369A 00002000 00000004 00000000 .6... ..
0xBFFFD240: 0000C005 00002000 BFFFD278 B7D3CF90 ..... .x.....
...
```

次に、特定のプロセスのプロセス ログの詳細な情報を表示する例を示します。

```
switch# show processes pid 3632
=====
Service: arp
Description: Address Resolution Protocol (ARP)

Started at Sat Dec 22 12:02:19 2007 (216828 us)
Stopped at Sat Dec 22 12:02:44 2007 (496964 us)
Uptime: 25 seconds

Start type: SRV_OPTION_RESTART_STATELESS (23)
Death reason: SYSMGR_DEATH_REASON_FAILURE_SIGNAL (2)
System image version: 4.0(0.788) S16

PID: 3912
Exit code: signal 11 (core dumped)

Threads: 3906 3905 4066 3917 3884 3870

CWD: /var/sysmgr/work

Virtual Memory:

CODE      08048000 - 08071474
DATA      08072474 - 08074794
BRK       08075000 - 080DE000
STACK     BFFFEB80
TOTAL     107908 KB

Register Set:

EBX B7EF4264      ECX B53F45CA      EDX B8009B1E
ESI B601C003      EDI B53F45C8      EBP B53F4578
EAX B8009B1E      XDS 0000007B      XES 0000007B
EAX FFFFFFFF (orig) EIP B7EDF9AB      XCS 00000073
EFL 00010286      ESP B53F4560      XSS 0000007B

Stack: 2688 bytes. ESP B53F4560, TOP BFFFEB80

0xB53F4560: B601C003 00000001 F1EC838D B7EF4264 .....dB..
0xB53F4570: 00000000 00000000 B53F45D8 B7EE0C0D .....E?.....
0xB53F4580: B601C003 B53F45CA B53F45C8 B53F45C0 .....E?..E?..E?..
0xB53F4590: 00000001 B53F45C4 00000000 00000001 .....E?.....
...
```

次に、物理デバイス上のすべての VDC のプロセス ログ情報を表示する例を示します。

```
switch# show processes log vdc-all
VDC Process          PID      Normal-exit  Stack  Core  Log-create-time
-----
1 aclmgr              3632      N           Y      N      Thu Mar 13 21:37:07 2008
1 aclmgr              4182      N           Y      N      Wed Mar 12 13:45:38 2008
1 aclmgr              4205      N           Y      N      Wed Mar 12 13:45:38 2008
1 adjmgr              4333      N           N      N      Sat Nov 24 06:25:20 2007
1 arbiter             4332      N           Y      N      Mon Nov 19 10:14:42 2007
1 arp                 3870      N           Y      N      Sat Dec 22 12:02:46 2007
1 clis                10005     N           Y      N      Sat Nov 24 03:46:13 2007
1 clis                10268     N           N      N      Fri Dec 14 09:13:53 2007
1 clis                1040      N           Y      N      Fri Nov 16 13:34:30 2007
1 clis                10486     N           Y      N      Fri Nov 16 14:58:59 2007
1 clis                10646     N           Y      N      Fri Nov 16 14:59:45 2007
...
```


show processes memory

プロセスのメモリ割り当て情報を表示するには、**show processes memory** コマンドを使用します。

show processes memory [shared]

シンタックスの説明	shared (任意) 共有メモリ割り当てを表示します。
------------------	-------------------------------------

デフォルト	プロセスに割り当てられたメモリを表示します。
--------------	------------------------

コマンドモード	任意のコマンドモード
----------------	------------

サポートされるユーザロール	ネットワーク管理者 VDC 管理者 ネットワーク オペレータ VDC オペレータ
----------------------	---

コマンド履歴	リリース 変更内容
	4.0(1) このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン	このコマンドにライセンスは不要です。
-------------------	--------------------

例	次に、プロセスのメモリ割り当て情報を表示する例を示します。
----------	-------------------------------

```
switch# show processes memory

PID      MemAlloc  StackBase/Ptr  Process
-----  -
1        147456    bffffda0/bffff890  init
2         0        0/0             migration/0
3         0        0/0             ksoftirqd/0
4         0        0/0             desched/0
5         0        0/0             migration/1
6         0        0/0             ksoftirqd/1
7         0        0/0             desched/1
8         0        0/0             events/0
9         0        0/0             events/1
10        0        0/0             khelper
15        0        0/0             kthread
24        0        0/0             kacpid
...
```

次に、プロセスの共有メモリ割り当て情報を表示する例を示します。

```
switch# show processes memory shared
Component          Shared Memory      Size      Used  Available  Reference
                   Address          (kbytes)  (kbytes) (kbytes)  Count
smm                0X60000000        1024      3      1021      115
cli                0X60110000       24576*   13991   10585      84
am                 0X61920000       14336*    14     14322      7
urib               0X62730000       32768*    648    32120     25
u6rib-ufdm        0X64740000        320*     188     132       2
urib-redist       0X647A0000       4096*     0     4096     25
icmpv6            0X64BB0000       2048     0     2048      2
ip                0X64DC0000       8192     65     8127     23
urib-ufdm         0X655D0000       2048*     0     2048      2
u6rib             0X657E0000      16384*   507    15877     12
ipv6              0X667F0000       8192     2     8190      9
u6rib-notify     0X67000000       2048*    681    1367     12
rpm               0X67210000       2048     6     2042     11
mrib              0X67420000      40960     2    40958      3
mrib-mfdm         0X69C30000       5120     0     5120      2
m6rib             0X6A140000      10240     2    10238      3
m6rib-mfdm       0X6AB50000       2048     10    2038      2
igmp              0X6AD60000       8192     0     8192      2
bgp               0X6B570000       8192    182    8010      1
Shared memory totals - Size: 189 MB, Used: 16 MB, Available: 173 MB
Free Physical Memory: 0 MB kernel, 0 MB user
```

関連コマンド

コマンド	説明
<code>show processes</code>	プロセス情報を表示します。
<code>show startup-config</code>	スタートアップ コンフィギュレーションを表示します。

show redundancy status

冗長性に関する詳細な情報を表示するには、**show redundancy status** コマンドを使用します。

show redundancy status

シンタックスの説明 このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト なし

コマンドモード Any

サポートされるユーザロール ネットワーク管理者
VDC 管理者

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン このコマンドにライセンスは不要です。

例 次に、冗長性情報を表示する例を示します。

```
switch# show tech-support ascii-cfg
Redundancy mode
-----
      administrative:  HA
      operational:    None

This supervisor (sup-6)
-----
      Redundancy state:  Active
      Supervisor state:  Active
      Internal state:    Active with no standby

Other supervisor (sup-5)
-----
      Redundancy state:  Not present

      Supervisor state:  N/A
      Internal state:    N/A

System start time:          Fri Aug 15 15:55:19 2008

System uptime:              3 days, 23 hours, 57 minutes, 22 seconds
Kernel uptime:              4 days, 0 hours, 1 minutes, 39 seconds
Active supervisor uptime:   3 days, 23 hours, 57 minutes, 22 secondss
```

show rmon

コンフィギュレーションまたはオンボード ログを表示するには、**show rmon** コマンドを使用します。

```
show rmon {alarms | events | hcalarms | logs | status}
```

シンタックスの説明	
alarms	設定済みの 32 ビット RMON アラームを表示します。
events	設定済みの RMON イベントを表示します。
hcalarms	設定済みの 64 ビット High Capacity (HC; 高容量) RMON アラームを表示します。
logs	RMON イベント ログを表示します。
status	RMON 情報を表示します。

デフォルト なし

コマンド モード Any モード

サポートされるユーザロール ネットワーク管理者
VDC 管理者

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン このコマンドにライセンスは不要です。

例 次に、設定済みの RMON アラームを表示する例を示します。

```
switch# show rmon alarms
Alarm 20 is active, owned by test
Monitors 1.3.6.1.2.1.2.2.1.16.30 every 30 second(s)
Taking delta samples, last value was 17
Rising threshold is 15, assigned to event 1
Falling threshold is 0, assigned to event 0
On startup enable rising or falling alarm
```

次に、設定済みの RMON イベントを表示する例を示します。

```
switch# show rmon events
Event 4 is active, owned by administrator@london_op_center
Description is WARNING(4)
Event firing causes log and trap to community public, last fired 03:32:43
```

次に、設定済みの高容量 RMON アラームを表示する例を示します。

```
switch# show rmon hcalarms
High Capacity Alarm 1 is active, owned by cseSysCPUUtilization.0@test
Monitors 1.3.6.1.4.1.9.9.305.1.1.1.0 every 10 second(s)
Taking absolute samples, last value was 0
Rising threshold is 60, assigned to event 4
Falling threshold is 59, assigned to event 4
On startup enable rising alarm
```

次に、RMON コンフィギュレーションとログ出力情報を表示する例を示します。

```
switch# show rmon status
Maximum allowed 32 bit or 64 bit alarms : 512
Number of 32 bit alarms configured : 0
Number of 64 bit hcalarms configured : 0
switch#
```

関連コマンド

コマンド	説明
rmon alarm	32 ビット RMON アラームを設定します。
rmon event	RMON イベントを設定します。
rmon hcalarm	64 ビット RMON アラームを設定します。

show running-config eem

Embedded Event Manager (EEM; 組み込み型イベント マネージャ) の実行コンフィギュレーションを表示するには、**show running-config eem** コマンドを使用します。

show running-config eem

シンタックスの説明 このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト なし

コマンド モード Any

サポートされるユーザロール スーパーユーザ
VDC 管理者
VDC ユーザ

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン このコマンドにライセンスは不要です。

例 次に、EEM 実行コンフィギュレーションを表示する例を示します。

```
switch# show running-config eem
version 4.0(1)
event manager applet oir-applet
event manager applet gold-match
#
```

show snmp

Simple Network Management Protocol (SNMP; 簡易ネットワーク管理プロトコル) 情報を表示するには、**show snmp** コマンドを使用します。

```
show snmp
```

シンタックスの説明 このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト なし

コマンドモード Any

サポートされるユーザロール ネットワーク管理者
ネットワーク オペレータ
VDC 管理者
VDC オペレータ

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン このコマンドにライセンスは不要です。

例 次に、SNMP 情報を表示する例を示します。

```
switch(config)# show snmp
sys contact:
sys location: anyplace, Anywhere

0 SNMP packets input
  0 Bad SNMP versions
  0 Unknown community name
  0 Illegal operation for community name supplied
  0 Encoding errors
  0 Number of requested variables
  0 Number of altered variables
  0 Get-request PDUs
  0 Get-next PDUs
  0 Set-request PDUs
0 SNMP packets output
  0 Too big errors
  0 No such name errors
  0 Bad values errors
  0 General errors

Community                               Group / Access
-----
Comm2                                   network-admin
testCommunity                           vdc-operator
com3                                     vdc-admin

SNMP USERS

User                                     Auth  Priv(enforce) Groups
---
foo                                     md5   aes-128 (no)  network-operator
                                           vdc-admin
                                           network-admin
User3                                   md5   no            network-operator

admin                                   md5   des (no)      network-admin
user1                                   md5   des (no)      vdc-admin

NOTIFICATION TARGET USERS (configured for sending V3 Inform)

User                                     Auth  Priv
---
foo                                     md5   no
(EngineID 11:22:33:44:55)

foo                                     sha   no
(EngineID 33:0:33:22:33)

SNMP Tcp Authentication Flag : Enabled.
```

関連コマンド

コマンド	説明
<code>snmp-server community</code>	SNMP コミュニティ スtring を設定します。

show snmp community

Simple Network Management Protocol (SNMP; 簡易ネットワーク管理プロトコル) コミュニティ ストリングを表示するには、**show snmp community** コマンドを使用します。

```
show snmp community
```

シンタックスの説明 このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト なし

コマンド モード Any

サポートされるユーザロール

- ネットワーク管理者
- ネットワーク オペレータ
- VDC 管理者
- VDC オペレータ

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン デバイスに設定されている SNMP コミュニティの一覧を表示するには、**show snmp community** コマンドを使用します。

Cisco NX-OS リリース 4.0(2) 以降では、**show snmp-community** コマンドによって、SNMPv2c コミュニティにマッピングされているすべての SNMP コンテキストが表示されます。

このコマンドにライセンスは不要です。

例 次に、SNMP コミュニティ ストリング、および関連するすべての SNMP コンテキストを表示する例を示します。

```
switch# show snmp community
Community          Group / Access  context
-----
testCommunity      vdc-operator   contextB
Comm2              network-admin
com3              vdc-admin
```

関連コマンド	コマンド	説明
	snmp-server community	SNMP コミュニティ ストリングを設定します。
	snmp-server mib community-map	SNMP コミュニティ ストリングを SNMP コンテキストにマッピングします。

show snmp context

Simple Network Management Protocol (SNMP; 簡易ネットワーク管理プロトコル) コンテキスト マッピングを表示するには、**show snmp context** コマンドを使用します。

show snmp context

シンタックスの説明 このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト なし

コマンド モード Any

サポートされるユーザロール ネットワーク管理者
ネットワーク オペレータ
VDC 管理者
VDC オペレータ

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(2)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン このコマンドにライセンスは不要です。

例 次に、SNMP コンテキスト マッピングを表示する例を示します。

```
switch# show snmp context
-----
Context                               [Protocol instance, VRF, Topology]
-----
contextB                               instancel,
                                         vrf1,
                                         topo1
-----r
```

関連コマンド	コマンド	説明
	snmp-server context	SNMP コンテキスト マッピングを設定します。

show startup-config eem

Embedded Event Manager (EEM; 組み込み型イベント マネージャ) のスタートアップ コンフィギュレーションを表示するには、**show startup-config eem** コマンドを使用します。

```
show startup-config eem
```

シンタックスの説明 このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト なし

コマンド モード Any

サポートされるユーザロール スーパーユーザ
VDC 管理者
VDC ユーザ

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン このコマンドにライセンスは不要です。

例 次に、EEM スタートアップ コンフィギュレーションを表示する例を示します。

```
switch# show startup-config eem  
switch#
```

show snmp engineID

Simple Network Management Protocol (SNMP; 簡易ネットワーク管理プロトコル) エンジン ID を表示するには、**show snmp engineID** コマンドを使用します。

show snmp engineID

シンタックスの説明 このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト なし

コマンド モード Any

サポートされるユーザロール ネットワーク管理者
ネットワーク オペレータ
VDC 管理者
VDC オペレータ

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン このコマンドにライセンスは不要です。

例 次に、SNMP エンジン ID を表示する例を示します。

```
switch(config)# show snmp engineID
Local SNMP engineID: [Hex] 80000009030005300A0B0C
                    [Dec] 128:000:000:009:003:000:005:048:010:011:012
```

関連コマンド	コマンド	説明
	snmp-server user	SNMP ターゲット通知ユーザを設定します。

show snmp group

Simple Network Management Protocol (SNMP; 簡易ネットワーク管理プロトコル) グループを表示するには、**show snmp group** コマンドを使用します。

show snmp group

シンタックスの説明 このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト なし

コマンド モード Any

サポートされるユーザロール ネットワーク管理者
ネットワーク オペレータ
VDC 管理者
VDC オペレータ

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン このコマンドにライセンスは不要です。

例

次に、SNMP グループを表示する例を示します。

```
switch(config)# show snmp group

role: network-admin
description: Predefined network admin role has access to all commands
on the switch
-----
Rule    Perm    Type    Scope    Entity
-----
1       permit read-write

role: network-operator
description: Predefined network operator role has access to all read
commands on the switch
-----
Rule    Perm    Type    Scope    Entity
-----
1       permit read

role: vdc-admin
description: Predefined vdc admin role has access to all commands within
a VDC instance
-----
Rule    Perm    Type    Scope    Entity
-----
1       permit read-write

role: vdc-operator
description: Predefined vdc operator role has access to all read commands
within a VDC instance
-----
Rule    Perm    Type    Scope    Entity
-----
1       permit read
```

関連コマンド

コマンド	説明
role name	SNMP グループとして使用するセキュリティ ロールを設定します。

show snmp host

Simple Network Management Protocol (SNMP; 簡易ネットワーク管理プロトコル) ホスト通知レシーバを表示するには、**show snmp host** コマンドを使用します。

show snmp host

シンタックスの説明 このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト なし

コマンド モード Any

サポートされるユーザロール ネットワーク管理者
ネットワーク オペレータ
VDC 管理者
VDC オペレータ

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン このコマンドにライセンスは不要です。

例 次に、SNMP ホストを表示する例を示します。

```
switch(config)# show snmp host
-----
Host                               Port Version  Level  Type   SecName
-----
192.0.2.1                          33   v1         noauth trap   Comm2
-----
192.0.2.2                          162  v3         auth   trap   comm3
-----
Use VRF: Blue
-----
192.0.2.10                         162  v3         auth   trap   testCommunity
-----
Filter VRF: Red
-----
```

関連コマンド	コマンド	説明
	snmp-server host	SNMP ホストを設定します。

show snmp trap

Simple Network Management Protocol (SNMP; 簡易ネットワーク管理プロトコル) 通知イネーブル ステータスを表示するには、**show snmp trap** コマンドを使用します。

show snmp trap

シンタックスの説明 このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト なし

コマンド モード Any

サポートされるユーザロール ネットワーク管理者
ネットワーク オペレータ
VDC 管理者
VDC オペレータ

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン このコマンドにライセンスは不要です。

例 次に、SNMP 通知イネーブル ステータスを表示する例を示します。

```
switch(config)# show snmp trap
Trap type                               Enabled
-----                               -
aaa server state-change                 No
callhome                                No
entity fru                              Yes
license                                  Yes
snmp authentication                     No
vrrp                                     No
link                                     No
bridge topologychange                   No
bridge newroot                           No
stp inconsistency                        No
stp loop-inconsistency                   No
stp root-inconsistency                   No
```

関連コマンド	コマンド	説明
	snmp-server trap enable	SNMP 通知をイネーブルにします。

show snmp user

Simple Network Management Protocol (SNMP; 簡易ネットワーク管理プロトコル) ユーザを表示するには、**show snmp user** コマンドを使用します。

```
show snmp user [username [engineID id]]
```

シンタックスの説明	パラメータ	説明
<code>username</code>	ユーザ名。32 文字以内の英数字のストリング（大文字と小文字を区別）で指定します。	
<code>engineID id</code>	通知ターゲット ユーザの SNMP エンジン ID を設定します。エンジン ID は、11 個の 10 進値をコロンで区切った形式で指定します。	

デフォルト すべてのユーザを表示します。

コマンド モード Any

サポートされるユーザロール

- ネットワーク管理者
- ネットワーク オペレータ
- VDC 管理者
- VDC オペレータ

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン このコマンドにライセンスは不要です。

例 次に、SNMP ユーザを表示する例を示します。

```
switch(config)# show snmp user
```

```
SNMP USERS
```

User	Auth	Priv(enforce)	Groups
foo	md5	aes-128(no)	network-operator vdc-admin network-admin
User3	md5	no	network-operator
admin	md5	des(no)	network-admin
user1	md5	des(no)	vdc-admin

```
NOTIFICATION TARGET USERS (configured for sending V3 Inform)
```

User	Auth	Priv
foo	md5	no

```
(EngineID 11:22:33:44:55)
```

関連コマンド	コマンド	説明
	<code>snmp-server user</code>	SNMP ユーザを設定します。

show snmp sessions

現在の Simple Network Management Protocol (SNMP; 簡易ネットワーク管理プロトコル) セッションを表示するには、**show snmp sessions** コマンドを使用します。

show snmp sessions

シンタックスの説明 このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト なし

コマンドモード Any

サポートされるユーザロール ネットワーク管理者
ネットワーク オペレータ
VDC 管理者
VDC オペレータ

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン このコマンドにライセンスは不要です。

例 次に、SNMP セッションを表示する例を示します。

```
switch(config)# show snmp sessions
```

関連コマンド	コマンド	説明
	snmp-server user	SNMP ユーザを設定します。

show sprom

デバイスのシリアル PROM (SPROM) の内容を表示するには、**show sprom** コマンドを使用します。

```
show sprom {all | backplane bp-number | clock clock-number | cmp | fan fan-number | module slot |
powersupply ps-number | stby-sup | sup | xbar xbar-number}
```

シンタックスの説明		
all		物理デバイス上のすべてのコンポーネントについて、SPROM の内容を表示します。
backplane <i>bp-number</i>		バックプレーンの SPROM の内容を表示します。
clock <i>clock-number</i>		クロック モジュールの SPROM の内容を表示します。
cmp		Connectivity Management Processor (CMP; 接続管理プロセッサ) の SPROM の内容を表示します。
fan <i>fan-number</i>		ファンの SPROM の内容を表示します。
module <i>slot</i>		I/O モジュールの SPROM の内容を表示します。
powersupply <i>ps-number</i>		電源装置の SPROM の内容を表示します。
stby-sup		スタンバイ スーパーバイザ モジュールの SPROM の内容を表示します。
sup		アクティブ スーパーバイザ モジュールの SPROM の内容を表示します。
xbar <i>xbar-number</i>		ファブリック モジュールの SPROM の内容を表示します。

デフォルト デバイス上のすべてのプロセスのサマリー情報を表示します。

コマンド モード 任意のコマンドモード

サポートされるユーザロール ネットワーク管理者
VDC 管理者
ネットワーク オペレータ
VDC オペレータ

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン 物理デバイス コンポーネント上の SPROM には、シリアル番号、Part Number、リビジョン番号など、ハードウェアに関する詳細な情報が保存されています。

このコマンドにライセンスは不要です。

例 次に、物理デバイス上のすべてのコンポーネントについて、SPROM 情報を表示する例を示します。

```
switch# show sprom all
DISPLAY active supervisor sprom contents:
Common block:
  Block Signature : 0xabab
  Block Version   : 3
  Block Length    : 160
  Block Checksum  : 0x158a
  EEPROM Size     : 65535
  Block Count     : 3
  FRU Major Type  : 0x6004
  FRU Minor Type  : 0x5
  OEM String      : Cisco Systems, Inc
  Product Number  : N7K-SUP1
  Serial Number   : JAB10380101
  Part Number     : 73-10877-03
  Part Revision   : 09
  Mfg Deviation   : 0
  H/W Version     : 0.311
  Mfg Bits        : 0
  Engineer Use    : 0
  snmpOID         : 0.0.0.0.0.0.0.0
  Power Consump   : -247
  RMA Code        : 0-0-0-0
  CLEI Code       : TBD
  VID             : TBD
...
```

次に、バックプレーンの SPROM 情報を表示する例を示します。

```
switch# show sprom backplane 1
DISPLAY backplane sprom contents:
Common block:
  Block Signature : 0xabab
  Block Version   : 3
  Block Length    : 160
  Block Checksum  : 0x147e
  EEPROM Size     : 65535
  Block Count     : 5
  FRU Major Type  : 0x6001
  FRU Minor Type  : 0x0
  OEM String      : Cisco Systems, Inc.
  Product Number  : N7K-C7010
  Serial Number   : TBM11256507
  Part Number     : 73-10900-04
  Part Revision   : 03
  Mfg Deviation   :
  H/W Version     : 0.403
  Mfg Bits        : 0
  Engineer Use    : 0
  snmpOID         : 0.0.0.0.0.0.0.0
  Power Consump   : -247
  RMA Code        : 0-0-0-0
  CLEI Code       :
  VID             :
Chassis specific block:
  Block Signature : 0x6001
  Block Version   : 3
  Block Length    : 39
  Block Checksum  : 0x3bf
  Feature Bits    : 0x0
  HW Changes Bits : 0x0
  Stackmib OID    : 0
  MAC Addresses   : 00-18-ba-d8-3f-bc
  Number of MACs  : 128
  OEM Enterprise  : 9
  OEM MIB Offset  : 5
```

```

MAX Connector Power: 1
WWN software-module specific block:
Block Signature : 0x6005
Block Version   : 1
Block Length    : 0
Block Checksum  : 0x66
wnn usage bits:
00 00 00 00 00 00 00 00
00 00 00 00 00 00 00 00
00 00 00 00 00 00 00 00
00 00 00 00 00 00 00 00
00 00 00 00 00 00 00 00
00 00 00 00 00 00 00 00
00 00 00 00 00 00 00 00
00 00 00 00 00 00 00 00
00 00 00 00 00 00 00 00
00 00 00 00 00 00 00 00
00 00 00 00 00 00 00 00
00 00 00 00 00 00 00 00
00 00 00 00 00 00 00 00
00 00 00 00 00 00 00 00
00 00 00 00 00 00 00 00
00 00 00 00 00 00 00 00
00 00 00 00 00 00 00 00
00 00 00 00 00 00 00 00
00 00 00 00 00 00 00 00
00 00 00 00 00 00 00 00
00 00 00 00 00 00 00 00
00 00 00 00 00 00 00 00
00 00 00 00 00 00 00 00
00 00 00 00 00 00 00 00
00 00 00 00 00 00 00 00
00 00 00 00 00 00 00 00
00 00
License software-module specific block:
Block Signature : 0x6006
Block Version   : 1
Block Length    : 16
Block Checksum  : 0x77
lic usage bits:
00 00 00 00 00 00 00 00
Second Serial number specific block:
Block Signature : 0x6007
Block Version   : 1
Block Length    : 28
Block Checksum  : 0x302
Serial Number   : TBM11256507

```

show system cores

コア ファイル名を表示するには、**show system cores** コマンドを使用します。

```
show system cores
```

シンタックスの説明 このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト すべての機能の情報を表示します。

コマンドモード 任意のコマンドモード

サポートされるユーザロール ネットワーク管理者
VDC 管理者
ネットワーク オペレータ
VDC オペレータ

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン システム コア ファイル名を設定するには、**system cores** コマンドを使用します。
このコマンドにライセンスは不要です。

例 次に、システム コア ファイルの出力先情報を表示する例を示します。

```
switch# show system cores
Cores are transferred to slot0:
```

関連コマンド	コマンド	説明
	system cores	システム コア ファイル名を設定します。

show system error-id

コア ファイルの出力先情報を表示するには、**show system error-id** コマンドを使用します。

```
show system error-id {error-number | list}
```

シンタックスの説明	error-id	エラー番号。有効範囲は 0x0 ~ 0xffffffff です。
	list	すべてのシステム エラー メッセージについて、簡単な情報を表示します。

デフォルト なし

コマンド モード 任意のコマンド モード

サポートされるユーザ ロール ネットワーク 管理者
VDC 管理者
ネットワーク オペレータ
VDC オペレータ

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン このコマンドにライセンスは不要です。

例 次に、エラー メッセージの詳細な情報を表示する例を示します。

```
switch# show system error-id 0x1

Error Facility: (null)
Error Description: not enough memory
```

次に、すべてのエラー メッセージの簡単な情報を表示する例を示します。

```
switch# show system error-id list

Common errors:
0x00000000 (SYSERR_SUCCESS): "success".
0x00000001 (SYSERR_NOMEM): "not enough memory".
0x00000002 (SYSERR_PSS_ERROR): "error while accessing PSS".
0x00000003 (SYSERR_CMI_NO_RESPONSE_PAYLOAD): "no cmi response payload".
0x00000004 (SYSERR_CMI_NULL_RECEIVE_BUF): "null cmi receive buffer".
0x00000005 (SYSERR_MGMT_ERROR): "unknown error".
0x00000006 (SYSERR_MGMT_NO_ENTRY): "entry not present".
0x00000007 (SYSERR_MGMT_NO_OBJECT): "object not present".
...
```

show system memory-status

メモリ ステータス情報を表示するには、**show system memory-status** コマンドを使用します。

show system memory-status

シンタックスの説明 このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト すべての機能の情報を表示します。

コマンドモード 任意のコマンドモード

サポートされるユーザロール ネットワーク管理者
VDC 管理者
ネットワーク オペレータ
VDC オペレータ

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン このコマンドにライセンスは不要です。

例 次に、メモリ ステータス情報を表示する例を示します。

```
switch# show system memory-status  
MemStatus: OK
```


show system reset-reason

デバイス上の各モジュールのリセット理由履歴を表示するには、**show system reset-reason** コマンドを使用します。

```
show system reset-reason [module slot | xbar xbar-number]
```

シンタックスの説明	module slot	I/O モジュールまたはスーパーバイザ モジュールの再起動理由を表示します。
	xbar xbar-number	ファブリック モジュールの再起動理由を表示します。

デフォルト スーパーバイザ モジュールのリセット理由を表示します。

コマンドモード 任意のコマンドモード

サポートされるユーザロール ネットワーク管理者

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン このコマンドはデフォルトの Virtual Device Context (VDC; 仮想デバイス コンテキスト) 内でのみ使用できます。

このコマンドにライセンスは不要です。

例 次に、スーパーバイザ モジュールのリセット理由履歴を表示する例を示します。

```
switch# show system reset-reason
----- reset reason for Supervisor-module 6 (from Supervisor in slot 6) ---
1) At 11151 usecs after Fri May 30 14:40:50 2008
   Reason: Reset Requested by CLI command reload
   Service:
   Version: 4.0(2)
2) At 171083 usecs after Wed May 28 11:40:49 2008
   Reason: Reset Requested by CLI command reload
   Service:
   Version: 4.0(2)
----- reset reason for Supervisor-module 5 (from Supervisor in slot 6) ---
1) No time
   Reason: Unknown
   Service:
   Version:
2) No time
   Reason: Unknown
   Service:
   Version:
```

関連コマンド	コマンド	説明
	clear system reset-reason	デバイスのリセット理由履歴を消去します。

show system uptime

前回のシステム アップロードからの経過時間を表示するには、**show system uptime** コマンドを使用します。

show system uptime

シンタックスの説明 このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト すべての機能の情報を表示します。

コマンド モード 任意のコマンドモード

サポートされるユーザロール ネットワーク管理者
VDC 管理者
ネットワーク オペレータ
VDC オペレータ

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン このコマンドにライセンスは不要です。

例 次に、前回のシステム リロードからの経過時間を表示する例を示します。

```
switch# show system uptime
System start time:      Fri May 30 14:46:25 2008
System uptime:         16 days, 23 hours, 9 minutes, 22 seconds
Kernel uptime:        16 days, 23 hours, 13 minutes, 29 seconds
Active supervisor uptime: 16 days, 23 hours, 9 minutes, 22 seconds
```

show tech-support ascii-cfg

チェックポイント機能に関する詳細な情報を表示するには、**show tech-support ascii-cfg** コマンドを使用します。

show tech-support ascii-cfg

シンタックスの説明 このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト なし

コマンド モード Any

サポートされるユーザロール ネットワーク管理者
VDC 管理者

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン このコマンドにライセンスは不要です。

例 次に、チェックポイント機能に関する詳細な情報を表示する例を示します。

```
switch# show tech-support ascii-cfg
`show checkpoint summary`
-----
Name                UserName                Created at
-----
stable              admin                   Tue May 27 13:19:24 2008
`show checkpoint`
-----
Name: stable
version 4.0(2)
power redundancy-mode combined force
license grace-period
feature vrrp
feature tacacs+
feature ospf
feature pim
feature pim6
feature msdp
feature eigrp
feature rip
feature isis
feature pbr
```

関連コマンド	コマンド	説明
	show checkpoint	チェックポイント ファイルの内容を表示します。

show tech-support session-mgr

コンフィギュレーション セッションを制御するセッション マネージャに関する詳細な情報を表示するには、**show tech-support session-mgr** コマンドを使用します。

シンタックスの説明 このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト なし

コマンドモード Any

サポートされるユーザロール ネットワーク管理者
VDC 管理者

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン トラブルシューティングのためにセッション マネージャに関する情報を収集するには、**show tech-support session-mgr** コマンドを使用します。このコマンドは、セッション マネージャに関する詳細な情報を表示します。このコマンドの出力はファイルに保存しておき、セッション マネージャに関するサポート要請の際に添付する必要があります。

このコマンドにライセンスは不要です。

例 次に、**show tech-support session-mgr** コマンドの出力をファイルに保存する例を示します。

```
switch# show tech-support session-mgr > bootflash:output
```

関連コマンド	コマンド	説明
	show configuration session	コンフィギュレーションセッションに関する情報を表示します。

show tech-support snmp

Simple Network Management Protocol (SNMP; 簡易ネットワーク管理プロトコル) に関する詳細な技術サポート情報を表示するには、**show tech-support snmp** コマンドを使用します。

show tech-support snmp

シンタックスの説明 このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト なし

コマンド モード Any

サポートされるユーザロール ネットワーク管理者
ネットワーク オペレータ
VDC 管理者
VDC オペレータ

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン トラブルシューティングのために SNMP に関する情報を収集するには、**show tech-support snmp** コマンドを使用します。このコマンドは、SNMP に関する詳細な情報を表示します。このコマンドの出力はファイルに保存しておき、SNMP に関するサポート要請の際に添付する必要があります。

このコマンドにライセンスは不要です。

例 次に、**show tech-support snmp** コマンドの出力をファイルに保存する例を示します。

```
switch# show tech-support snmp > bootflash:output
```

関連コマンド	コマンド	説明
	snmp-server community	SNMP コミュニティ ストリングを設定します。

show xml server status

XML サーバのステータスに関する情報を表示するには、**show xml server status** コマンドを使用します。

show xml server status

シンタックスの説明 このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト なし

コマンド モード 任意のコマンドモード

サポートされるユーザロール ネットワーク管理者
ネットワーク オペレータ
VDC 管理者
VDC オペレータ

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン このコマンドにライセンスは不要です。

例 次に、XML サーバのステータスに関する情報を表示する例を示します。

```
switch(config)# show xml server status
operational status is enabled
  maximum session configured is 8
switch(config)#
```